

この「答えとてびき」はとりはずしてお使いください。



教科書ぴったりトレーニング

# 答えとてびき

東京書籍版 算数 3年



● **もんだい**  
**問題がとけたら...**

- ① まずは答え合わせをしましょう。
- ② 次にてびきを読んでかくにんしましょう。

**おうちのがたへ** では、次のようなものを示しています。

- ・学習のねらいやポイント
- ・他の学年や他の単元の学習内容とのつながり
- ・まちがしやすいことやつまずきやすいところ

お子様への説明や、学習内容の把握などにご活用ください。

**しあげの5分レッスン** では、

学習の最後に取り組む内容を示しています。  
学習をふりかえることで学力の定着を図ります。

**答え合わせの時間短縮に 丸つけラクラク解答 デジタルもご活用ください!**

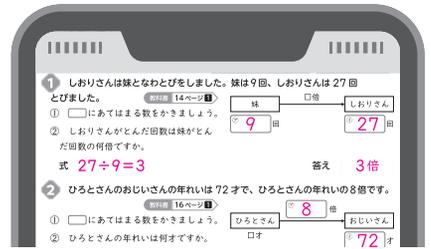
右の QR コードをスマートフォンなどで読み取ると、赤字解答の入った本文紙面を見ながら簡単に答え合わせができます。



丸つけラクラク解答デジタルは以下の URL から確認できます。

<https://www.shinko-keirinwebshop.com/shinko/2024pt/rakurakudegi/MTS3da/index.html>

- ※丸つけラクラク解答デジタルは無料でご利用いただけますが、通信料金はお客様のご負担となります。
- ※QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



## 1 かけ算

**ぴったり1 じゃんび**

2 ページ

- 1 ① 8    ② 40    ③ 8    ④ 40    ⑤ 8    ⑥ 40
- 2 (1)① 10    ② 50    (2)③ 4    ④ 40    ⑤ 4    ⑥ 40
- (3)⑦ 48    ⑧ 78    ⑨ 60    ⑩ 3    ⑪ 18    ⑫ 78

**ぴったり2 練習**

3 ページ

**てびき**

- 1 ① 7    ② 2    ③ 3    ④ 4
- 2 ①ア 35    イ 3    ウ 21    エ 56
- ②ア 5    イ 25    ウ 5    エ 30
- 3 ①ア 12    イ 36
- ②ア 12    イ 24
- ③ア 8    イ 16    ウ 10    エ 26
- ④ア 10    イ 30    ウ 12    エ 42
- 4 ① 80    ② 30
- ③ 90    ④ 77
- ⑤ 70    ⑥ 128

4 ⑥  $16 \times 8$   $\left\{ \begin{array}{l} 10 \times 8 = 80 \\ 6 \times 8 = 48 \\ \hline \text{あわせて } 128 \end{array} \right.$

**おうちのがたへ** かけられる数を分けて計算する考え方は、2年生で学習しています。1つの分け方で答えがでたら、分け方を変えて計算させるとよいでしょう。

びっぴり1 じゃんび

4 ページ

- 1 ① 3 ② 6 ③ 0 ④ 0 ⑤ 0 ⑥ 0 ⑦ 9 ⑧ 9  
 2 (1)① 6 ② 42 ③ 48 ④ 8  
 (2)⑤ 9 ⑥ 4

びっぴり2 練習

5 ページ

てびき

- 1 ① 式  $3 \times 0 = 0$  答え 0点  
 ② 式  $2 \times 1 = 2$  答え 2点  
 ③ 式  $1 \times 5 = 5$  答え 5点  
 ④ 式  $0 \times 4 = 0$  答え 0点  
 ⑤ 式  $0 + 2 + 5 + 0 = 7$  答え 7点  
 2 ① 0 ② 0  
 ③ 0 ④ 0  
 3 ① 4 ② 4 ③ 8 ④ 7

- 3 ① 6のだんの九九を調べます。□にじゅんに数をあてはめて、  
 $6 \times \square = 18$   
 $6 \times \square = 24$   
 ② □ $\times 7 = 7 \times \square$ だから、7のだんの九九を調べます。

🏠 おうちのがたへ 九九を使って、かけられる数やかける数を求めることは、「③わり算」へつながります。スムーズに求められるようにさせておきましょう。

びっぴり3 たしがめのテスト

6~7 ページ

てびき

- 1 ① 5 ② 7  
 ③ 4 ④ 6  
 ⑤ 2  
 2 ① 式 0、0 答え 0点  
 ② 式 0、5、0 答え 0点  
 ③ 式  $6 + 0 + 3 + 0 = 9$  答え 9点  
 3 ① 60 ② 20  
 ③ 70 ④ 0  
 ⑤ 0 ⑥ 0  
 4 ① 5 ② 9  
 ③ 9 ④ 7  
 5 ①ア 10 ① 4 ウ 40  
 ② 52  
 ③ ア  
 6 式 (れい)  
 $10 \times 3 = 30$   
 $6 \times 3 = 18$   
 $30 + 18 = 48$  答え 48こ

- 1 ⑤  $6 \times 7$   $\begin{cases} 6 \times 5 \\ 6 \times 2 \end{cases}$

- 3  $\begin{matrix} \text{✌} \blacksquare \times 0 = 0 \\ 0 \times \blacksquare = 0 \\ 0 \times 0 = 0 \end{matrix}$  答えはいつも0だよ。

- 5  $13 \times 4$  は、ほかの考え方でもとめられます。  
 $\cdot 13 + 13 + 13 + 13 = 52$

$\cdot 13 \times 4 \begin{cases} 9 \times 4 = 36 \\ 4 \times 4 = 16 \end{cases} \rightarrow 36 + 16 = 52$

- 6 10こ入りの箱も6こ入りの箱も、3つで同じなので、 $10 + 6 = 16$ 、 $16 \times 3$ という式をつくることもできます。

## 2 時こくと時間のもともめ方

### ぴったり1 じゃんび

8 ページ

- 1 10、20、7、20
- 2 10、10、20
- 3 1、30

### ぴったり2 練習

9 ページ

てびき

1 2時30分

2 40分

3 9時50分

4 2時間20分

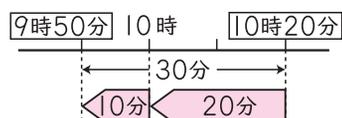
- 5 ① 40<sup>びょう</sup>秒 ② 60秒  
③ 1分10秒 ④ 180秒

1 1時40分から50分後の時こくをもとめます。  
2時までは20分だから、2時から30分たった時こくです。

2 7時40分から8時20分までの時間をもとめます。

8時まで20分、8時から20分です。

3 10時20分から30分前の時こくをもとめます。



20分前が10時だから、10時から10分前の時こくです。

4 1時間50分と30分をあわせませす。



60分=1時間だから、1時間50分と10分で2時間。あと20分たします。

5 ③ 1分=60秒だから、70秒は、1分とあと10秒。

④ 3分は、60秒の3つ分です。

### ぴったり3 たしかめのテスト

10~11 ページ

てびき

1 ① 30、10 ② 3、10

2 ① 10秒 ② 45秒

3 ① 60 ② 1、30

4 ① 300 ② 2、30

③ 1、40 ④ 150

3 1分=60秒

4 ① 5分は、60秒が5つ分です。

② 150秒は、60秒が2つ分と、30秒です。  
2分

③ 100分は、60分と40分です。  
1時間

④ 2時間30分は、60分が2つ分と30分  
2時間

5 ① 分 ② 秒 ③ 時間 ④ 分

6 45分

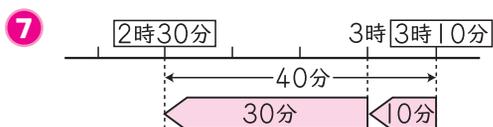
7 午後2時30分

8 65(分)、1(時間)5(分)

5 ② 100m走の世界記録は9秒台です。小学生だと20秒ぐらいかかります。

③ 1日は24時間です。そのうち、9時間ぐらいねて、15時間ぐらい起きています。

6 12時まで20分、12時から25分です。



10分前が3時、3時から30分前の時こくです。

8  $40分 + 25分 = 65分$ 、65分は、60分と5分です。 | 時間

**しあげの5分レッスン** 時こくと時間のちがいをしっかり理かいて、お話をつくってみよう。

### 3 わり算

**びつたり1 じゃんび** 12ページ

1 ① 2 ② 8 ③ 4 ④ 2

2 ① 28 ② 7 ③ 7 ④ 28 ⑤ 7

**びつたり2 練習** 13ページ

てびき

1 ① 5こ ②  $15 \div 3 (=5)$

2 ① 6まい ②  $12 \div 2 (=6)$

3 式  $30 \div 5 = 6$  答え 6 cm

4 式  $32 \div 8 = 4$  答え 4本

1 ① 右の絵から、答えは5こになります。



② 1人分の数をもとめるから、わり算の式になります。



2 ① 右の絵から、答えは6まいになります。



② 1人分の数をもとめるから、わり算の式になります。



3  $30 \div 5$ の答えは、 $\square \times 5 = 30$ の□にあてはまる数で、 $\square \times 5 = 5 \times \square$ だから、5のだんの九九で見つけられます。

4  $32 \div 8$ の答えは、8のだんの九九で見つけられます。

**びつたり1 じゃんび** 14ページ

1 ① 28 ② 7 ③ 7 ④ 28 ⑤ 7

2 (1) 0 (2) 6 (3) 1

1 ① 6人 ②  $18 \div 3 (=6)$

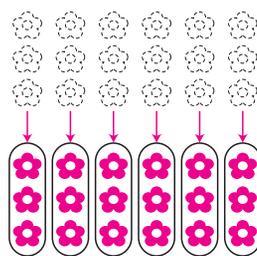
2 式  $54 \div 6 = 9$  答え 9つ

3 式  $14 \div 2 = 7$  答え 7こ

4 ① 4 ② 2 ③ 9  
④ 5 ⑤ 6 ⑥ 8  
⑦ 0 ⑧ 8 ⑨ 1

1 ① 右の絵から、答えは6人になります。

② 同じ数ずつ何人に分けられるかをもとめるから、わり算の式になります。



2  $54 \div 6$  の答えは、6のだんの九九で見つかります。

3  $14 \div 2$  の答えは、2のだんの九九で見つかります。

4 ✂ どのだんの九九で見つけれられるか考えよう。  
また、0を、0でないどんな数でわっても、  
答えはいつも0だね。

1 わられる、わる

2 ① 4 答え 6 ② 9 答え 3

3 ① 9 ② 4 ③ 4 ④ 8  
⑤ 6 ⑥ 0 ⑦ 5 ⑧ 1

4 ① 式  $21 \div 7 = 3$  答え 3本  
② 式  $21 \div 7 = 3$  答え 3人

5 ① 式  $24 \div 6 = 4$  答え 4人  
② 式  $36 \div 4 = 9$  答え 9まい

6 ㉠

1 ● $\div$ ▲の式で、●をわられる数、▲をわる数といいます。

2 ①  $24 \div 4$  の答えは、 $4 \times \square = 24$  の□にあてはまる数です。

②  $27 \div 9$  の答えは、 $9 \times \square = 27$  の□にあてはまる数です。

4 1人分の数をもとめるときも、何人に分けられるかをもとめるときも、どちらもわり算の式になります。

5 1チームの人数をもとめるときも、同じ数ずつパンをふくろにつめたときのふくろの数をもとめるときも、わり算の式になります。

6 ㉠ プリンののこりの数をもとめるので、ひき算の式になります。式は  $10 - 2$  になります。

㉡ 1箱10こ入りの2箱分のキャラメルの数をもとめるので、かけ算の式になります。式は  $10 \times 2$  になります。

㉢ 何人に分けられるかをもとめるので、わり算の式になります。式は  $10 \div 2$  になります。

㉣ 2まいずつ10人に分けるのにひつようなおり紙の数をもとめるので、かけ算の式になります。式は  $2 \times 10$  になります。

## 4 たし算とひき算の筆算

### びったり1 じゃんび 18 ページ

- 1 537  
2 183

### びったり2 練習 19 ページ

- ① 
$$\begin{array}{r} 163 \\ +214 \\ \hline 377 \end{array}$$
- ② 
$$\begin{array}{r} 156 \\ +327 \\ \hline 483 \end{array}$$
- ③ 
$$\begin{array}{r} 462 \\ + 86 \\ \hline 548 \end{array}$$
- ④ 
$$\begin{array}{r} 584 \\ +239 \\ \hline 823 \end{array}$$
- ⑤ 
$$\begin{array}{r} 354 \\ +248 \\ \hline 602 \end{array}$$
- ⑥ 
$$\begin{array}{r} 745 \\ +493 \\ \hline 1238 \end{array}$$
- ⑦ 
$$\begin{array}{r} 578 \\ -342 \\ \hline 236 \end{array}$$
- ⑧ 
$$\begin{array}{r} 956 \\ -427 \\ \hline 529 \end{array}$$
- ⑨ 
$$\begin{array}{r} 651 \\ -293 \\ \hline 358 \end{array}$$
- ⑩ 
$$\begin{array}{r} 801 \\ -523 \\ \hline 278 \end{array}$$
- ⑪ 
$$\begin{array}{r} 504 \\ - 67 \\ \hline 437 \end{array}$$
- ⑫ 
$$\begin{array}{r} 1000 \\ - 458 \\ \hline 542 \end{array}$$

### てびき

- ① たし算の筆算は、3けたになっても、位をそろえて、一の位からじゅんに位ごとに計算します。④、⑤、⑥はくり上がりが2回あります。くり上がりをわすれないように注意しましょう。
- ② ひき算の筆算は、3けたになっても、位をそろえて、一の位からじゅんに位ごとに計算します。
- ③ 1つ上の位からくり下げられないときは、もう1つ上の位からくり下げます。

### びったり1 じゃんび 20 ページ

- 1 (1)① 11    ② 8    ③ 9819  
(2)④ 14    ⑤ 7    ⑥ 11    ⑦ 6    ⑧ 2671

### びったり2 練習 21 ページ

- ① 
$$\begin{array}{r} 1457 \\ +4389 \\ \hline 5846 \end{array}$$
- ② 
$$\begin{array}{r} 5392 \\ +1208 \\ \hline 6600 \end{array}$$
- ③ 
$$\begin{array}{r} 4058 \\ +3981 \\ \hline 8039 \end{array}$$
- ④ 
$$\begin{array}{r} 4758 \\ -2593 \\ \hline 2165 \end{array}$$
- ⑤ 
$$\begin{array}{r} 5046 \\ -3987 \\ \hline 1059 \end{array}$$
- ⑥ 
$$\begin{array}{r} 7204 \\ -6597 \\ \hline 607 \end{array}$$
- ⑦ 
$$\begin{array}{r} 6431 \\ + 374 \\ \hline 6805 \end{array}$$
- ⑧ 
$$\begin{array}{r} 358 \\ +7246 \\ \hline 7604 \end{array}$$
- ⑨ 
$$\begin{array}{r} 4967 \\ + 33 \\ \hline 5000 \end{array}$$
- ⑩ 
$$\begin{array}{r} 4284 \\ - 327 \\ \hline 3957 \end{array}$$
- ⑪ 
$$\begin{array}{r} 1045 \\ - 679 \\ \hline 366 \end{array}$$
- ⑫ 
$$\begin{array}{r} 3021 \\ - 57 \\ \hline 2964 \end{array}$$

### てびき

- ① たし算やひき算の筆算は、数が大きくなっても、位をそろえて、一の位からじゅんに位ごとに計算します。
- ② くり上がりやくり下がりに注意しましょう。

**おうちのがたへ** たし算とひき算の筆算は、2年生から順にけた数を増やして学習してきました。また、3年2学期と4年1学期には、小数のたし算とひき算を、同じように、けた数を増やしながら学習します。位を縦にそろえて書き、小さい位から順に計算することを、しっかり理解させましょう。

- 1 ① 499    ② 917    ③ 825  
④ 322    ⑤ 166    ⑥ 328

2 ① 
$$\begin{array}{r} 304 \\ +859 \\ \hline 1163 \end{array}$$
    ② 
$$\begin{array}{r} 648 \\ + 52 \\ \hline 700 \end{array}$$
    ③ 
$$\begin{array}{r} 2343 \\ +3467 \\ \hline 5810 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 426 \\ - 82 \\ \hline 344 \end{array}$$
    ⑤ 
$$\begin{array}{r} 503 \\ - 7 \\ \hline 496 \end{array}$$
    ⑥ 
$$\begin{array}{r} 8024 \\ -4568 \\ \hline 3456 \end{array}$$

- 3 ①まちがい 筆算の位がそろっていない。  
正しい答え 575  
②まちがい 十の位から1くり下げたことを  
わすれて計算している。  
正しい答え 204

- 4 (れい)① 1042、3958  
② 3704、1296

- 5 ① 
$$\overset{\text{しき}}{\text{式}} \quad 328+437=765$$
    答え 765まい  
② 
$$\text{式} \quad 1000-626=374$$
    答え 374円  
③ 
$$\text{式} \quad 471-85=386$$
    答え 386人

- 1 くり上がりやくり下がりに注意しましょう。

2 筆算を書くときには、位をそろえて書きます。  
② 
$$\begin{array}{r} 648 \\ +52 \\ \hline \end{array}$$

- 3 正しくは ① 
$$\begin{array}{r} 28 \\ +547 \\ \hline 575 \end{array}$$
    ② 
$$\begin{array}{r} 321 \\ -117 \\ \hline 204 \end{array}$$

- 4 一の位は、たすと10になる数を考えます。  
下の位から1くり上がるから、十の位と百の位は、  
たすと9になり、千の位は、たすと4になる数  
を考えます。

5 ① 
$$\begin{array}{r} 328 \\ +437 \\ \hline 765 \end{array}$$
    ② 
$$\begin{array}{r} 1000 \\ - 626 \\ \hline 374 \end{array}$$
    ③ 
$$\begin{array}{r} 471 \\ - 85 \\ \hline 386 \end{array}$$

**しるべいの5分レッスン** 計算する前に、答えの見当をつけるようにしましょう。

**考える力をのばそう**

- ☆ ① ①ア 100    ① 100    ④ 100  
⑤ 200    ⑥ 200  
②カ 200    ⑦ 30    ⑧ 170  
⑨ 170  
② ①ア 100    ① 30    ④ 70  
⑤ 70  
②オ 70    ⑥カ 100    ⑦キ 170  
⑧ク 170

☆ (れい)式  $100+100-40=160$     答え 160cm

- ☆ ア 170    ① 120    ④ 80  
⑤ 170    ⑥ 120    ⑦カ 80  
① 式  $120+80=200$     答え 200cm  
② 式  $200-170=30$     答え 30cm

- ☆ ① 先にものさし2本分の長さをもとめてから、  
あとで重なり部分<sup>かさぶぶん</sup>をひいています。  
② 先に、1本のものさしの長さから重なり部分<sup>かさぶぶん</sup>をひいて、  
あとでもう1本のものさしの長さをたしています。  
(オとカは、じゅん番がちがっていてもよいです。)

- ☆ あとで重なり部分<sup>かさぶぶん</sup>をひいて、花だんの横<sup>よこ</sup>の長さ  
をもとめています。

**べつの考え** 先に重なり部分<sup>かさぶぶん</sup>をひいて、花だんの横<sup>よこ</sup>の長さをもとめます。  
 $100-40=60$   
 $60+100=160$

- ☆ ② 2本のテープの長さをたすと、全体の長さより長くなります。  
その長い部分の長さがつなぎめの長さです。

## 5 長いものの長さのはかり方と表し方

### びっぴり1 じゃんび

26 ページ

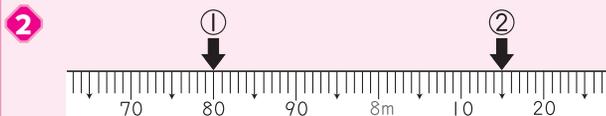
- 1 ① 1 ② 5 ③ 70 ④ 15 ⑤ 6 ⑥ 15  
 2 (1)① 800 (2)② 700 ③ 1100 ④ 1100 ⑤ 1 ⑥ 100

### びっぴり2 練習

27 ページ

てびき

- 1 ①ア 11 m 90 cm  
 ① 12 m 25 cm  
 ②ア 4 m 82 cm  
 ① 5 m 17 cm



- 3 ① 900 m  
 ② 1200 m、1 km 200 m

- 1 ①ア 12 m より短いから、11 m 90 cm です。  
 ① 12 m と 25 cm で、12 m 25 cm です。  
 ②ア 5 m より短いから、4 m 82 cm です。  
 ① 5 m と 17 cm で、5 m 17 cm です。

**おうちのなたへ** 2年生で学習した数の線のよみ方と同じです。大きい目もりから順に、どんな長さを表すか確認させましょう。

- 3 ① きよりは、まっすぐにはかった長さです。  
 ② 道のりは、道にそってはかった長さです。  
 $700 + 500 = 1200$  で、1200 m です。  
 1200 m は 1000 m と 200 m で、  
 1 km 200 m です。

### びっぴり3 たしかめのテスト

28~29 ページ

てびき

- 1 ①ア 3 m 85 cm  
 ① 4 m 20 cm  
 ②ア 9 m 58 cm  
 ① 10 m 4 cm

- 2 ① ㉟ ② あ ③ い ④ あ

- 3 ① 1、640  
 ② 1030

- 4 ① cm ② km ③ m  
 ④ mm

- 5 ① 700 m ② 900 m  
 ③ 100 m

- 6 ① 1 km 60 m  
 ② 1800 m、1 km 800 m

- 1 まきじゃくの | めもりは 1 cm です。  
 ①ア 4 m より短いから、3 m 85 cm です。  
 ① 4 m と 20 cm で、4 m 20 cm です。  
 ②ア 10 m より短いから、9 m 58 cm です。  
 ① 10 m と 4 cm で、10 m 4 cm です。
- 2 長いものやまるいものの長さをはかるときは、まきじゃくがべんりです。
- 3 ① 1640 m は 1000 m と 640 m で、  
 1 km 640 m です。  
 ② 1 km 30 m は 1000 m と 30 m で、1030 m です。
- 4 1 cm = 10 mm、1 m = 100 cm、  
 1 km = 1000 m だったね。
- 5 ① きよりは、まっすぐにはかった長さです。  
 ②  $200 + 700 = 900$  で、900 m です。  
 ③ 銀行の前を<sup>ぎんこう</sup>通って行くときの道のりは、  
 $500 + 500 = 1000$  で、1000 m。道のりのちがいは、 $1000 - 900 = 100$  で、100 m です。
- 6 ① 1060 m は 1000 m と 60 m で、1 km 60 m。  
 ②  $600 + 800 + 400 = 1800$  で、1800 m です。  
 1800 m は 1000 m と 800 m で、  
 1 km 800 m です。

## 6 ぼうグラフと表

### びっぴり1 じゃんび

30 ページ

1 ① F ② T ③ 3 ④ 2 ⑤ 10

2 (1) 10、5、2 (2) 18、14、4 (3) 4、12、 $\frac{1}{3}$

### びっぴり2 練習

31 ページ

てびき

1 ア

サッカー	正下
ドッジボール	正
野 球	下
テ ニ ス	一
水 泳	上
た っ 球	一

① すきなスポーツと人数

しゅるい	人数(人)
サッカー	8
ドッジボール	5
野 球	3
そ の 他	4
合 計	20

2 ① 右の図

② |

③ 右の図

④ 右の図

⑤ 右の図



1 ア 調べ終わったものにしるしをつけて、もれや重なりがないようにしましょう。

✂ 1人…一、2人…上、3人…下、  
4人…下、5人…上、と表すよ。

① テニスと水泳とたっ球は人数が少ないので、まとめて「その他」とします。

「合計」が全体の人数と合っているか、たしかめましょう。

2 ① 「その他」は、数が多くてもさいごに書きます。

② グラフのたてのじくのめもりは全部で10あります。いちばん多い数は8だから、1めもりを1にします。

③ たてのじくの1めもりの数は1だから、たてのじくの真ん中のめもりは5になります。

④ サッカーは8めもり分、ドッジボールは5めもり分、野球は3めもり分、その他は4めもり分のぼうをかきます。

⑤ 何を調べたかを書きます。

✂ ぼうグラフに表すと、何が多くて何が少ないかがひと目でわかるよ。

### おうちのかなへ

小学校では、いろいろなグラフを学習します。複数の数量の数が比較しやすい棒グラフ、変わり方が一目でわかる折れ線グラフ(4年)、割合を表した円グラフや帯グラフ(5年)、散らばりの様子を表したヒストグラム(6年)です。グラフに表すことと、グラフから読み取ることができるようにさせましょう。

### びっぴり1 じゃんび

32 ページ

1 (1)① 25 ② 6 ③ 3 ④ 27 ⑤ 28 ⑥ 13 ⑦ 9 ⑧ 80

(2) 6、13、13 (3) 30、28、13、ねこ

1 ① 下の表

すきなスポーツ(1~3組) (人)

しゅるい	組	1組	2組	3組	合計
サッカー		11	9	5	25
野球		7	4	7	18
ドッジボール		9	12	12	33
その他		3	6	4	13
合計		30	31	28	⑦ 89

- ② 3年生の3クラスの人数の合計  
③ ドッジボール

- 2 ① ⑦ 12    ① 15    ⑤ 35  
② (3ぱん) 物語 (1組) どう話

1 ③ 表の横にたした合計を見ると、上からじゅんに25、18、33、13です。いちばん多い数は33だから、すきな人がいちばん多いスポーツはドッジボールです。

- 2 ① ⑦  $5+3+4=12$   
①  $6+5+4=15$   
⑤  $15+13+7=35$   
( $12+12+11=35$ )  
② 3ぱん…表の「3ぱん」の下をたてに見ていきます。  
1組全体…表の横にたした合計(いちばん右のらん)を見ていきます。

ぴったり3 たしがめのテスト

1 ① 右の表

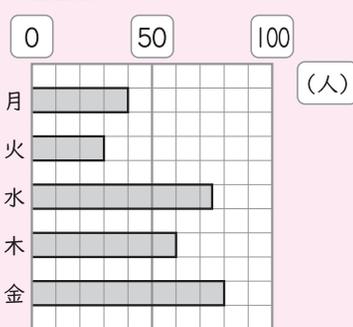
すきなくだものと人数

しゅるい	人数(人)
いちご	9
メロン	11
バナナ	7
みかん	4
その他	5
合計	36

- ② キウイ、ぶどう  
③ メロン  
④ (れい) 「その他」には、みかんより人数が少ないキウイやぶどうがふくまれているから。

2 ① 右の図

としょじつ 図書室で本をかりた人数



- ② 右の図

- 3 ① ⑦ 10円    ① 90円  
② ⑦ 5m    ① 30m  
③ ⑦ 20人    ① 170人

- 4 ① ⑦ 18    ① 18    ⑤ 65  
② すりきず

5 (れい) 西小学校と東小学校のぼうグラフは、1めもりの人数がちがいます。だから、グラフのぼうの長さが同じでも、人数がちがうからです。

1 ① いちご… $5+4=9$

メロン… $5+5+1=11$

バナナ… $5+2=7$

- ② 人数が少ないものをまとめて「その他」とします。

2 ① いちばん多い数が80だから、横のじくの1めもりの数は、80が表せるように決めます。

3 ① ⑦ 20が2つに分けられているから、10円です。

② ⑦ 10が2つに分けられているから、5mです。

③ ⑦ 100が5つに分けられているから、20人です。

4 ① ⑦  $5+4+6+3=18$

①  $6+4+8=18$

⑤  $20+16+18+11=65$

( $18+24+23=65$ )

② 表の横にたした合計(いちばん右のらん)を見ると、上からじゅんに20、16、18です。いちばん多い数は20だから、すりきずだとわかります。

5 西小学校と東小学校のぼうグラフの1めもりが、それぞれ何人を表しているかを考えます。  
西小学校…10を5つに分けているから2人です。  
東小学校…5を5つに分けているから1人です。

# 7 暗算

## ぴったり1 じゃんび

36 ページ

- 1 (1)① 16    ② 16    ③ 86    ④ 3    ⑤ 86  
 (2)⑥ 5    ⑦ 55    ⑧ 2    ⑨ 55

## ぴったり2 練習

36 ページ

てびき

- 1 ① 78    ② 85    ③ 72  
 ④ 92    ⑤ 70    ⑥ 35  
 ⑦ 24    ⑧ 25    ⑨ 4  
 ⑩ 6    ⑪ 71    ⑫ 58

- 1 数を何十といくつに分けたり、数を何十とみて考えたりします。

②  $27+58$     ①  $20+50=70$   
 $\underbrace{20} \quad \underbrace{750} \quad 8$     ②  $7+8=15$

$27+58$

③  $70+15=85$

① 58 を 60 とみる。

②  $27+60=87$  で

2 多くたしているから、

$87-2=85$

⑦  $40-16$     ①  $30-10=20$   
 $\underbrace{30} \quad \underbrace{10} \quad \underbrace{10} \quad 6$     ②  $10-6=4$

$40-16$

③  $20+4=24$

① 16 を 20 とみる。

②  $40-20=20$  で

4 多くひいているから、

$20+4=24$

⑩  $100-29$     ①  $100-20=80$   
 $\underbrace{20} \quad 9$     ②  $80-9=71$

$100-29$

① 29 を 30 とみる。

②  $100-30=70$  で

1 多くひいているから、

$70+1=71$

## ぴったり3 たしかめのテスト

37 ページ

てびき

- 1 ① 68    ② 87    ③ 83  
 ④ 90    ⑤ 42    ⑥ 31  
 ⑦ 28    ⑧ 4    ⑨ 5  
 ⑩ 7    ⑪ 62    ⑫ 87

- 2 ① 71 円    ② 16 円  
 ③ 46 円    ④ チョコレート

- 1 自分のやりやすいしかたで考えましょう。  
 かんぜんに頭の中で暗算あんざんしてもいいし、少しメモをしながら考えてもいいです。

- 2 ① ビスケットは 38 円、ミニラーメンは 33 円だから、式は  $38+33$  です。  
 ② キャンディーは 47 円、ラムネは 63 円だから、式は  $63-47$  です。  
 ③ せんべいは 54 円だから、式は  $100-54$  です。  
 ④ グミは 76 円だから、 $100-76$  でもとめるか、 $76+\square=100$  の  $\square$  がいくつになるかでもとめられます。

**おうちのみなへ** 2つの数をよく見て、計算が簡単になる考え方を見つけさせましょう。特に、一の位の数が、ひく数の方が大きいひき算では、注意させましょう。

## 8 あまりのあるわり算

### びっぴり1 じゃんび 38 ページ

- 1 ① 5 ② 6 ③ 1 ④ 3 ⑤ 1 ⑥ 3 ⑦ 1  
 2 (1) 8、4 (2) 7、9、2

### びっぴり2 練習 39 ページ

てびき

- 1 わりきれる計算 ①、③  
 わりきれない計算 ②、④
- 2 <sup>しき</sup>式  $25 \div 4 = 6$  あまり 1  
 答え 6 ふくろできて、1 まいあまる。
- 3 式  $50 \div 6 = 8$  あまり 2  
 答え 8 本できて、2 cm あまる。
- 4 式  $40 \div 7 = 5$  あまり 5  
 答え 1 人分は 5 まいになって、5 まいあまる。
- 5 ① 6 あまり 1  $2 \times 6 + 1 = 13$   
 ② 5 あまり 4  $6 \times 5 + 4 = 34$   
 ③ 9 あまり 2  $5 \times 9 + 2 = 47$   
 ④ 3 あまり 1  $8 \times 3 + 1 = 25$   
 ⑤ 8 あまり 3  $7 \times 8 + 3 = 59$   
 ⑥ 4 あまり 5  $9 \times 4 + 5 = 41$
- 1 あまりがあるときは「わりきれない」といい、  
 あまりがないときは「わりきれる」といいます。  
 ②  $18 \div 4 = 4$  あまり 2  
 ③  $42 \div 6 = 7$   
 ④  $54 \div 7 = 7$  あまり 5  
 ⑤  $48 \div 8 = 6$
- 2 4 のだんの九九を<sup>つか</sup>使って答えをもとめます。  
 わり算のあまりは、わる数より小さくなるように  
 します。
- 3 6 のだんの九九を使って答えをもとめます。
- 4 7 のだんの九九を使って答えをもとめます。
- 5 ①  $13 \div 2 = 6$  あまり 1  
 $2 \times 6 + 1 = 13$

### びっぴり1 じゃんび 40 ページ

- 1 (1) 34、6 (2) 6、1、7  
 2 (1) 50、8、6、2 (2) 6、2、6

### びっぴり2 練習 41 ページ

てびき

- 1 ①  $28 \div 6 = 4$  あまり 4  
 ② 5 こ
- 2 ①  $68 \div 9 = 7$  あまり 5  
 ② 8 日
- 3 ①  $42 \div 5 = 8$  あまり 2  
 ② 8 つ
- 4 ①  $30 \div 4 = 7$  あまり 2  
 ② 7 さつ
- 1 ② 4 こだと、4 人すわれないから、みんなが  
 すわるには、長いすはもう 1 こいります。  
 $4 + 1 = 5$
- 2 ② 7 日だと、まだ 5 ページのこっているから、  
<sup>ぜんぶ</sup>全部読むには、もう 1 日いります。  
 $7 + 1 = 8$
- 3 ② 5 本ずつの花たばは 8 つできて、花が 2 本  
 のこります。のこりの花では、花たばをもう 1  
 つ作ることはできません。
- 4 ② 7 さつ立てられて 2 cm のこります。  
 のこりの 2 cm には、あつき 4 cm の本は立て  
 られません。

**🕒 5分レッスン** あまりを1つのまとまりと  
 して答えに入れるのか、入れないのか、<sup>もんだい</sup>問題をよく読  
 んで、問題の<sup>ばいめん</sup>場面を考えよう。



# 9 大きい数のしくみ

## びっぴり1 じゃんび

44 ページ

- 1 (1) 八百三十七 (2) 2587043  
 2 (1) < (2) 40000、=

## びっぴり2 練習

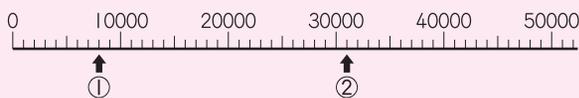
45 ページ

てびき

- 1 ① 五十八万六千九百二十四  
 ② 二千三万七千五百十  
 ③ 145117  
 ④ 7203600  
 ⑤ 83290000

- 2 ① 56000 ② 470

- 3 ア 1000 イ 25000  
 ウ 49000



- 4 ① > ② = ③ < ④ >

1

千	百	十	一	千	百	十	一
万							
		5	8	6	9	2	4

2

千	百	十	一	千	百	十	一
万							
2	0	0	3	7	5	1	0

- ③ 十万の位が1、一万の位が4、千の位が5、百の位が1、十の位が1、一の位が7です。  
 ④ 百万の位が7、十万の位が2、一万の位はないから0、千の位は3、百の位は6、十の位と、一の位はないから0です。

5

千	百	十	一	千	百	十	一
万							
8	3	2	9	0	0	0	0

- 2 ① 1000 を 10 こ集めると 10000 です。

一万の位	千の位	百の位	十の位	一の位
5	6	0	0	0

2

千	百	十	一	千	百	十	一
万							
		4	7	0	0	0	0
				1	0	0	0

- 3 いちばん小さいメモリが 10 こで 10000 になっているから、いちばん小さいメモリは 1000 を表しています。

- 4 ② 6000+4000 は、1000 をもとにすると 6+4=10 だから、10000 になり、□ の左右は同じになります。  
 ③ 700 万-300 万は、100 万をもとにすると 7-3=4 だから、400 万になります。  
 ④ 130000-60000 は、10000 をもとにすると、13-6=7 だから、70000 になります。

- 1 ① 0 ② 100 ③ 1000 ④ 720 ⑤ 7200 ⑥ 72000  
 2 0、42

- 1 960、96  
 2 ① 10倍…480、100倍…4800、  
 1000倍…48000  
 ② 10倍…5210、100倍…52100、  
 1000倍…521000  
 ③ 10倍…3700、100倍…37000、  
 1000倍…370000  
 ④ 10倍…2000、100倍…20000、  
 1000倍…200000  
 3 ① 8 ② 65 ③ 70

2 数を10倍すると、位が1つずつ上がり、もとの数の右に0を1こつけた数になります。



3 一の位が0の数を10でわると、位が1つずつ下がり、もとの数の一の位の0をとった数になります。



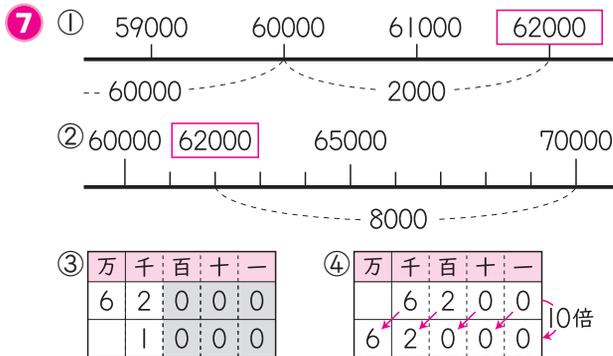
- 1 ① 5、8、4 ② 1、千万  
 2 ① 56012342  
 ② 4206000  
 ③ 185000  
 ④ 100000000  
 3 ①ア 45000 イ 58000  
 ②ウ 9300万 エ 1億  
 4 ① < ② > ③ = ④ <  
 5 ① 10倍…690、100倍…6900、  
 1000倍…69000  
 ② 10倍…8000、100倍…80000、  
 1000倍…800000  
 6 ① 5 ② 47

- 1 ②
- |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 千 | 百 | 十 | 一 | 千 | 百 | 十 | 一 |
|   |   |   | 万 |   |   |   |   |
| 8 | 9 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
- 2 ③
- |      |      |     |     |     |     |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| 十万の位 | 一万の位 | 千の位 | 百の位 | 十の位 | 一の位 |
| 1    | 8    | 5   | 0   | 0   | 0   |
- 3 ① いちばん小さい | めもりは 1000 を表しています。  
 ② めもりが5こで500万になっているから、いちばん小さい | めもりは 100万を表しています。  
 4 まず、たし算やひき算の式を計算してから大小をくらべます。

- 5 ①
- |     |   |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|---|
|     | 万 | 千 | 百 | 十 | 一 |
|     |   |   |   | 6 | 9 |
| 10倍 |   |   | 6 | 9 | 0 |
| 10倍 |   | 6 | 9 | 0 | 0 |
| 10倍 | 6 | 9 | 0 | 0 | 0 |
- 100倍  
1000倍
- 6 一の位が0の数を10でわると、位が1つずつ下がり、もとの数の一の位の0をとった数になります。

- 7 ① 2000 ② 8000 ③ 62  
④ 10

**おうちのがたへ** 2年生では一万まで、3年生では一億までの整数を学習し、4年生では一億より大きい整数を学習します。けた数が増えても「一、十、百、千」の4つの位が繰り返され、しくみは同じであることを、しっかりと理解させるようにしましょう。



## 10 かけ算の筆算(1)

### びっぴり1 じゃんび 50 ページ

- 1 (1)① 18 ② 10 ③ 180 (2)④ 28 ⑤ 100 ⑥ 2800  
2 (1) 72 (2) 222

### びっぴり2 練習 51 ページ

- 1 ① 40 ② 240 ③ 720  
④ 2100 ⑤ 6300 ⑥ 3000
- 2 ① 14 ② 21 ③ 30
- $$\begin{array}{r} 14 \\ \times 2 \\ \hline 28 \end{array}$$
- $$\begin{array}{r} 21 \\ \times 4 \\ \hline 84 \end{array}$$
- $$\begin{array}{r} 30 \\ \times 2 \\ \hline 60 \end{array}$$
- ④ 13 ⑤ 39 ⑥ 15
- $$\begin{array}{r} 13 \\ \times 5 \\ \hline 65 \end{array}$$
- $$\begin{array}{r} 39 \\ \times 2 \\ \hline 78 \end{array}$$
- $$\begin{array}{r} 15 \\ \times 6 \\ \hline 90 \end{array}$$
- 3 ① 62 ② 70 ③ 84
- $$\begin{array}{r} 62 \\ \times 4 \\ \hline 248 \end{array}$$
- $$\begin{array}{r} 70 \\ \times 5 \\ \hline 350 \end{array}$$
- $$\begin{array}{r} 84 \\ \times 9 \\ \hline 756 \end{array}$$
- ④ 18 ⑤ 46 ⑥ 63
- $$\begin{array}{r} 18 \\ \times 7 \\ \hline 126 \end{array}$$
- $$\begin{array}{r} 46 \\ \times 9 \\ \hline 414 \end{array}$$
- $$\begin{array}{r} 63 \\ \times 8 \\ \hline 504 \end{array}$$

てびき

- 1 かけられる数が10倍ばいになると、答えも10倍になります。

①  $2 \times 2 = 4 \rightarrow 20 \times 2 = 40$   
②  $4 \times 6 = 24 \rightarrow 40 \times 6 = 240$   
③  $8 \times 9 = 72 \rightarrow 80 \times 9 = 720$

かけられる数が100倍になると、答えも100倍になります。

④  $7 \times 3 = 21 \rightarrow 700 \times 3 = 2100$   
⑤  $9 \times 7 = 63 \rightarrow 900 \times 7 = 6300$   
⑥  $6 \times 5 = 30 \rightarrow 600 \times 5 = 3000$

- 2 かける数のだんの九九つかを使うと、1つのだんの九九で計算できます。

- 3 百の位くらいにもくり上がります。くり上がりはどこでも何回ひっさんあっても、筆算のしかたは同じです。

**しあげの5分レッスン** まちがえた計算は、くり上がりに注意して、もう1回やろう。

### びっぴり1 じゃんび 52 ページ

- 1 (1) 792 (2) 3192  
2 10、2670

### びっぴり2 練習 53 ページ

- 1 ① 234 ② 313 ③ 403
- $$\begin{array}{r} 234 \\ \times 2 \\ \hline 468 \end{array}$$
- $$\begin{array}{r} 313 \\ \times 3 \\ \hline 939 \end{array}$$
- $$\begin{array}{r} 403 \\ \times 2 \\ \hline 806 \end{array}$$

- 1 かけられる数が3けたになっても、九九を使って答えがもとめられます。

② ①  $\begin{array}{r} 325 \\ \times 3 \\ \hline 975 \end{array}$       ②  $\begin{array}{r} 183 \\ \times 3 \\ \hline 549 \end{array}$       ③  $\begin{array}{r} 234 \\ \times 4 \\ \hline 936 \end{array}$

④  $\begin{array}{r} 924 \\ \times 2 \\ \hline 1848 \end{array}$       ⑤  $\begin{array}{r} 407 \\ \times 5 \\ \hline 2035 \end{array}$       ⑥  $\begin{array}{r} 723 \\ \times 6 \\ \hline 4338 \end{array}$

⑦  $\begin{array}{r} 537 \\ \times 3 \\ \hline 1611 \end{array}$       ⑧  $\begin{array}{r} 926 \\ \times 4 \\ \hline 3704 \end{array}$       ⑨  $\begin{array}{r} 469 \\ \times 9 \\ \hline 4221 \end{array}$

③ ① 720      ② 1890      ③ 3700

② 十の位や百の位にくり上がった数をたすのをわすれないようにしましょう。

③ ①  $80 \times 3 \times 3 = 80 \times (3 \times 3)$   
 $= 80 \times 9$   
 $= 720$

②  $189 \times 2 \times 5 = 189 \times (2 \times 5)$   
 $= 189 \times 10$   
 $= 1890$

③  $37 \times 25 \times 4 = 37 \times (25 \times 4)$   
 $= 37 \times 100$   
 $= 3700$

びっぴり 3 たしかめのテスト

54~55 ページ

てびき

① ① 270      ② 600      ③ 4800

② ア 30      ① 400

③ ①  $\begin{array}{r} 12 \\ \times 3 \\ \hline 36 \end{array}$       ②  $\begin{array}{r} 37 \\ \times 8 \\ \hline 296 \end{array}$       ③  $\begin{array}{r} 68 \\ \times 6 \\ \hline 408 \end{array}$

④  $\begin{array}{r} 162 \\ \times 4 \\ \hline 648 \end{array}$       ⑤  $\begin{array}{r} 283 \\ \times 7 \\ \hline 1981 \end{array}$       ⑥  $\begin{array}{r} 889 \\ \times 9 \\ \hline 8001 \end{array}$

④ ① 580      ② 6300

① ①  $9 \times 3 = 27 \rightarrow 90 \times 3 = 270$

②  $3 \times 2 = 6 \rightarrow 300 \times 2 = 600$

③  $8 \times 6 = 48 \rightarrow 800 \times 6 = 4800$

②  $431 \times 2$

400	$\times 2 = 800$
30	$\times 2 = 60$
1	$\times 2 = 2$
-----	
あわせて 862	

③ かけられる数が2けたになっても、3けたになっても、九九を使って答えをもとめることができます。十の位や百の位にくり上がった数をたすのをわすれないようにしましょう。

④ ①  $58 \times 2 \times 5 = 58 \times (2 \times 5)$   
 $= 58 \times 10$   
 $= 580$

②  $700 \times 3 \times 3 = 700 \times (3 \times 3)$   
 $= 700 \times 9$   
 $= 6300$

5 ① 答えの見当をつける式  
(れい)  $70 \times 6 = 420$

$$\begin{array}{r} 73 \\ \times 6 \\ \hline 438 \end{array}$$

② 答えの見当をつける式  
(れい)  $500 \times 3 = 1500$

$$\begin{array}{r} 502 \\ \times 3 \\ \hline 1506 \end{array}$$

6 式  $15 \times 7 = 105$       答え 105 こ

7 ① 式  $252 \times 4 = 1008$       答え 1008 円

② 式  $36 \times 4 = 144$       答え 144 こ

8 式  $164 \times 5 \times 2 = 1640$       答え 1640 円

5 正しい計算は、次のようになります。

①  $73 \times 6 = 438$

42に  
くり上げた  
1をたす。

②  $502 \times 3 = 1506$

3×0の  
0を書く。

6  $\frac{\text{はこ}}{15} \times \frac{\text{ぜんぶ}}{7} = \frac{\text{ぜんぶ}}{\text{全部の数}}$

8  $164 \times 5 \times 2 = 164 \times (5 \times 2)$   
 $= 164 \times 10$   
 $= 1640$

## 11 大きい数のわり算、分数とわり算

### びっぴり1 じゃんび 56 ページ

1 (1)① 8    ② 8    ③ 2    ④ 2    ⑤ 20    (2)⑥ 20    ⑦ 21

2 3、20、20

### びっぴり2 練習 57 ページ

1 ① 30    ② 40    ③ 10  
 ④ 10    ⑤ 21    ⑥ 43  
 ⑦ 31    ⑧ 11    ⑨ 11

2 式  $48 \div 4 = 12$       答え 12 まい

3 ①

4 式  $24 \times 5 = 120$       答え 120 cm

てびき

1 ①~④ 10をもとに考えます。  
 ①  $6 \div 2 = 3 \rightarrow 60 \div 2 = 30$

⑤~⑨ 位ごとに分けて考えます。

⑤  $63 \div 3 = 21$

$$\begin{array}{r} 63 \\ 60 \quad 3 \\ \hline 3 \div 3 = 1 \\ \hline \text{あわせて } 21 \end{array}$$

2  $\frac{\text{全部のまい数}}{\text{全部のまい数}} \div \frac{\text{分ける人数}}{\text{分ける人数}} = \frac{\text{1人分のまい数}}{\text{1人分のまい数}}$

3 もとの長さが長いほうが、その  $\frac{1}{3}$  の長さも長くなります。

4 5等分した1こ分の長さが24 cmだから、もとの長さは、24 cmの5倍です。

### びっぴり3 たしかめのテスト 58~59 ページ

てびき

1 ①ア 8    ① 4    ウ 4    エ 40  
 ②オ 20    カ 10    キ 6  
 ク 3    ケ 13

2 ① 20    ② 10    ③ 30  
 ④ 10    ⑤ 20    ⑥ 10

1 ②(オ6 カ3 キ20 ク10でもよいです。)

2 10をもとに考えます。

- 3 ① 12    ② 21    ③ 22  
 ④ 34    ⑤ 22    ⑥ 32
- 4 ① 式  $30 \div 3 = 10$                       答え 10まい  
 ② 式  $46 \div 2 = 23$                       答え 23こ
- 5 式  $24 \div 4 = 6$                               答え 6cm
- 6 ① 式  $12 \times 3 = 36$                       答え 36m  
 ② 式  $15 \times 3 = 45$   
 $45 - 36 = 9$                               答え 9m

- 3 位ごとに分けて考えます。  
 ① 36を30と6に分けて考えます。
- 4 ①  $\frac{\text{全部のまい数}}{\text{分ける人数}} = \text{1人分のまい数}$   
 ②  $\frac{\text{全部のこ数}}{\text{分ける人数}} = \text{1人分のこ数}$
- 5 24cmを4等分した1こ分の長さです。
- 6 ① 3等分した1こ分の長さが12mだから、赤色のリボンのもとの長さは、12mの3倍です。  
 ② 3等分した1こ分の長さのちがいからもとめることもできます。  
 式  $15 - 12 = 3$ 、 $3 \times 3 = 9$                       答え 9m

## 12 円と球

### びっぴり1 じゅんぴ

60 ページ

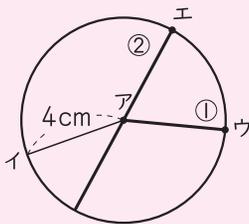
- 1 1、5、2、3  
ちよっけい  
 2 直径、2、8、8

### びっぴり2 練習

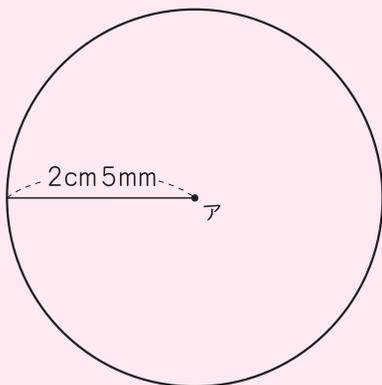
61 ページ

てびき

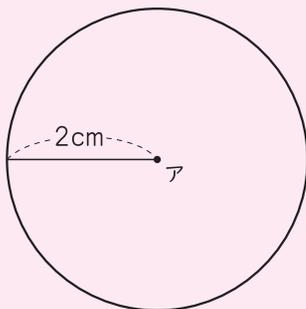
- 1 ①、②                                      ③ 8cm



- 2 ①



- ②



- 3 ウ、ア、①

- 1 ① 中心ちゆうしんから円えんのまわりまでひいた直線ちゆうせんを半径はんけいといいます。ウの点と中心のアの点をむすびます。  
 ② 中心を通るように円のまわりからまわりまでひいた直線を、直径ちゆうけいといいます。  
 ③ 直径の長さは、半径の2倍です。

**おうちのみなへ** 5年生で円周の長さを、6年生で円の面積を学習します。半径と直径をきちんと理解させましょう。

- 2 コンパスつかを使った円のかき方
- ① 下じきをはずします。
  - ② 半径の長さひらに、コンパスを開きます。
  - ③ 中心ばしよの場所を決めて、はりをさします。
  - ④ 手首を自分のほうにひねってかき始めます。
  - ⑤ とちゅうで止めないで、一気にコンパスを回します。
- ① コンパスを2cm 5mmに開いてかきます。  
 ② 直径が4cmだから半径は2cmです。  
 コンパスを2cmに開いてかきます。
- 3 ものさしで長さをはからなくても、コンパスつかを使って長さをくらべられます。

4 3 cm

4 同じ大きさのボールが2こぴったり入っているから、箱のたての長さはボールの直径の2こ分と等しいです。

$$12 \div 2 = 6 \quad 6 \div 2 = 3$$

↑                      ↑  
ボールの直径      ボールの半径

ぴったりに3 なしがわのテスト 62~63 ページ

てびき

1 ① 中心 ② 半径 ③ 直径

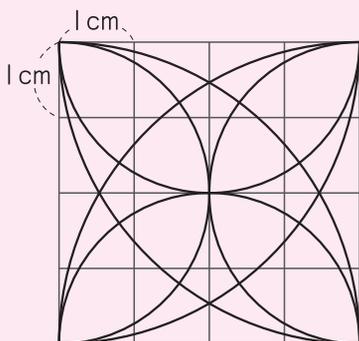
④ 14

2 ① 球

② 円、半分

③ 10

3 右の図



4 4こ分

5 ①

6 6 cm

7 ① 10 cm ② (たて)30 cm、(横)20 cm

4 直線アの長さをコンパスでうつしとり、直線を区切っていきます。

5 アの線を3つの直線とみて、コンパスで①の直線の上にじゅんに長さをうつしとってくらべます。

6 小さい円の直径は、 $36 \div 3 = 12$ で12 cmだから、半径は、 $12 \div 2 = 6$ で6 cmになります。

7 ① 直径は半径の2倍です。 $5 \times 2 = 10$   
② 箱のたての長さはボールの直径の3こ分、横の長さはボールの直径の2こ分と等しいです。

13 小数

ぴったりに1 じゃんび 64 ページ

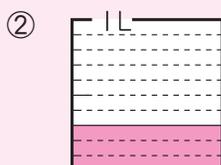
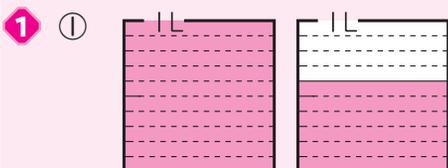
1 (1) 7、0.7、1.7 (2) 0.1、3.2

2 小数第一位

3 19、20、<

ぴったりに2 練習 65 ページ

てびき



1 1Lを10等分した1こ分のかさ(どうぶん)は、0.1Lです。

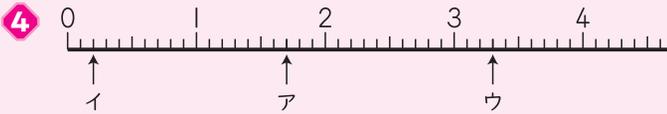
① 1.6Lは1Lと0.6Lをあわせたかさです。

0.6Lは0.1Lの6こ分です。

② 0.3Lは0.1Lの3こ分です。

- 2 イ 2.5 cm ウ 4.4 cm  
エ 0.9 cm

- 3 ① 4.5 ② 25.7 ③ 38



ウ(>)ア(>)イ

- 5 ① > ② < ③ <

- 2 1 mmは1 cmを10等分した1こ分の長さだから、0.1 cmです。

イ 2 cm 5 mmは2 cmと0.5 cmだから、2.5 cmです。

- 3 ① 1 dLは1 Lを10等分した1こ分のかさだから、0.1 Lです。4 L 5 dLは4 Lと0.5 Lだから、4.5 Lです。

② 25 cmと0.7 cmで25.7 cmです。

③ 0.1が10こで1になります。だから、3は0.1が30こ分です。

- 4 いちばん小さい1めもりは、1を10等分した1こ分だから、0.1です。

- 5 ① 一の位の数字は同じだから、小数第一位の数字でくらべます。7>5だから、0.7は0.5より大きいです。

② 一の位の数字でくらべます。4<5だから、4.6は5.2より小さいです。

③ 8と8.1を数直線上に表すと、8より8.1のほうが右にくるので、8は8.1より小さいです。



**おうちのかなへ** 10こ集まると上の位になることや大小など、整数のしくみと同じであることをしっかり理解させましょう。また、5年生では、小数第三位まで範囲を広げて、整数と小数のしくみをまとめる学習をします。

**ぴったり1 じゃんび** 66 ページ

- 1 (1) 2、5、7、0.7 (2) 13、7、6、0.6

- 2 (1) 7.3 (2) 6 (3) 0.5

**ぴったり2 練習** 67 ページ

- 1 ① 0.6 ② 1 ③ 1.5  
④ 0.7 ⑤ 0.4 ⑥ 0.5

2

①	②	③
1.6	3.5	2.9
+2.3	+1.7	+4.1
-----	-----	-----
3.9	5.2	7.0

④	⑤	⑥
4.5	7.8	8.2
+5	-4.2	-2.4
-----	-----	-----
9.5	3.6	5.8

⑦	⑧	⑨
6.3	5	34
-5.7	-3.2	-1.6
-----	-----	-----
0.6	1.8	32.4

**てびき**

- 1 0.1をもとにして考えます。

- 2 位をそろえて書きます。答えの小数点をうつのをわすれないようにしましょう。

⑧は5を5.0と考えて、⑨は34を34.0と考えて計算します。

5.0	<del>5</del>	34.0	<del>34</del>
-3.2	<del>-3.2</del>	-1.6	<del>-1.6</del>
-----		-----	

③ <sup>しき</sup>式  $1.4 + 1.8 = 3.2$       答え 3.2 L

$$\begin{array}{r} 1.4 \\ + 1.8 \\ \hline 3.2 \end{array}$$

④ 式  $4.3 - 2 = 2.3$       答え 2.3 m

$$\begin{array}{r} 4.3 \\ - 2 \\ \hline 2.3 \end{array}$$

**🕒 10分の5分レッスン** 答えに小数点をうつこと以外は、2年生で学習した整数のたし算やひき算の筆算と同じです。まちがえた問題は、もう1回やろう。

**びっぴり1 じゃんび**      68 ページ

① ① 0.7    ② 0.3    ③ 17    ④ 7

② (1) 0.4、0.4    (2) 3、3

**びっぴり2 練習**      69 ページ

① ① 0.8    ② 12

② ① 2    ② 0.1    ③ 0.1

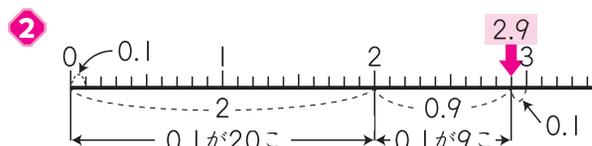
④ 9

③ ①(ア) 0.3    (イ) 6

②(ア) 3    (イ) 0.4

**てびき**

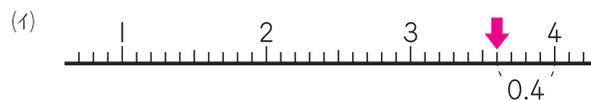
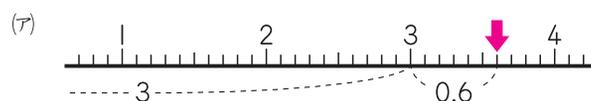
① いちばん小さい1めもりは0.1です。



③ ①



②



**びっぴり3 たしがめのテスト**      70~71 ページ

**てびき**

① ① 2.5(L)    25(こ分)

② 0.3(L)    3(こ分)

① 小さいめもりは、1Lを10等分した1こ分だから0.1Lです。

① 1Lより少ないかさ、小さいめもり5こ分だから、0.5Lです。2Lと0.5Lで2.5Lです。また、1Lは小さいめもり10こ分だから、2.5Lは0.1Lの25こ分です。

② 小さいめもり3こ分だから、0.3Lで、0.1Lの3こ分です。

② ア 0.6 cm    イ 1.9 cm    ウ 3.4 cm

② いちばん小さい1めもりは、1cmを10等分した1こ分の長さだから、0.1cmです。

- 3 ① 3.8 ② 5.2 ③ 4.7  
④ 7.5 ⑤ 17.3

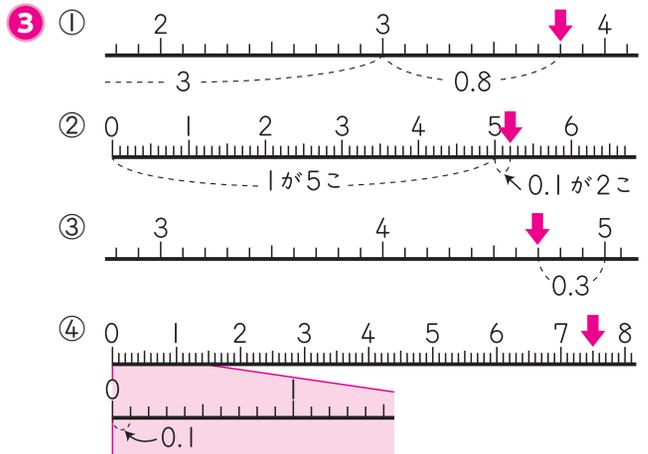
- 4 ① < ② > ③ <

- 5 ① 1.3 ② 0.9 ③ 0.5

6 ① 
$$\begin{array}{r} 1.6 \\ +4.2 \\ \hline 5.8 \end{array}$$
 ② 
$$\begin{array}{r} 2.5 \\ +1.7 \\ \hline 4.2 \end{array}$$
 ③ 
$$\begin{array}{r} 3.8 \\ +2.2 \\ \hline 6.0 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 5.7 \\ -3.4 \\ \hline 2.3 \end{array}$$
 ⑤ 
$$\begin{array}{r} 1.6 \\ -0.9 \\ \hline 0.7 \end{array}$$
 ⑥ 
$$\begin{array}{r} 4 \\ -2.8 \\ \hline 1.2 \end{array}$$

- 7 ① 式  $4.5 + 2.8 = 7.3$  答え 7.3 dL  
② 式  $4.5 - 2.8 = 1.7$  答え 1.7 dL



⑤ 17.3 cm は 17 cm と 0.3 cm だから、  
17 cm 3 mm です。

- 4 ① 小数第一位だいいちいの数字でくらべます。  
②・③ 一の位くわいの数字でくらべます。

5 0.1 をもとにして考えます。

- 6 位をそろえて書きましょう。  
⑥は 4 を 4.0 として計算します。

$$\begin{array}{r} 4.0 \\ -2.8 \\ \hline \end{array}$$

- 7 ① 
$$\begin{array}{r} 4.5 \\ +2.8 \\ \hline 7.3 \end{array}$$
  
② 
$$\begin{array}{r} 4.5 \\ -2.8 \\ \hline 1.7 \end{array}$$

## 14 重さのたんいとはかり方

びっぴり1 **じゃんび** 72 ページ

- 1 (1) 虫めがね、虫めがね (2) 32、24、8、8  
2 32、24、36

びっぴり2 **練習** 73 ページ

てびき

- 1 ① ナイフ  
② 2 公分  
③ 20 公分
- 1 ① もとにするおはじきや 1 円玉のこ数が、いちばん多いものをさがします。  
② スプーンはおはじきで 18 公分、フォークはおはじきで 16 公分です。  
③ ナイフは 1 円玉で 65 公分、スプーンは 1 円玉で 45 公分です。

- 2 ① 80g  
 ②(ア) カスタネット、32g  
 (イ) 消しゴムが15g重い。

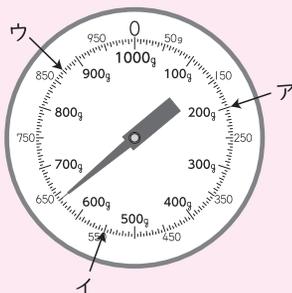
- 2 ① |円玉|この重さは1gだから、80分の重さは80gになります。  
 ②(イ) 消しゴムとボールペンはそれぞれ1円玉25こ分と10こ分で、25gと10gです。

ぴったり1 **じゃんび** 74ページ

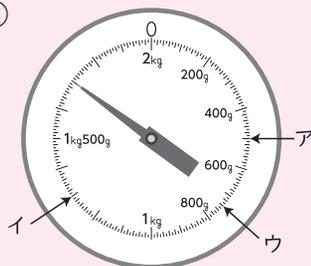
- 1 1000、5、430  
 2 (1) 1000、1700 (2) 1000、8  
 3 (1) 1 (2) 1000

ぴったり2 **練習** 75ページ

- 1 ① 640g ②



- 2 ① 1kg 700g ②



- 3 ① 1030g ② 3kg 600g  
 ③ 2050kg

- 4 1kg 800g、1800g

- 5 ① 1m ② 1km ③ 1000  
 ④ 10 ⑤ 1mL ⑥ 1L

てびき

- 1 0と50gの間が10こに分けられているから、いちばん小さい1めもりは5gです。  
 ① 650gよりいちばん小さいめもり2つ分軽い640gです。

- 2 ① 0と200gの真ん中にあるめもりは100gで、0と100gの間が10こに分けられているから、いちばん小さい1めもりは10gです。1kg 500gと100gのめもり2つ分だから、1kg 700gです。

- 3 1kg=1000g、1t=1000kgです。

①

kg	g
1030	

②

kg	g
3600	

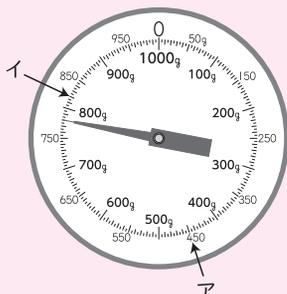
③

t	kg
2050	

- 4 かばんの重さ + 荷物の重さ = 全体の重さ  
 $500g + 1kg 300g = 1kg 800g$

ぴったり3 **たしかめのテスト** 76~77ページ

- 1 ① 1kg ② 5g ③ 780g  
 ④

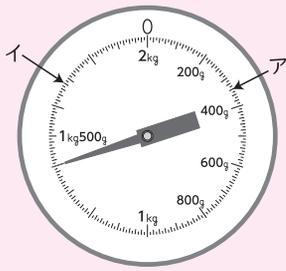


てびき

- 1 ① はかることができるのは1000gまでです。  
 ② 0と50gの間が10こに分けられています。  
 ③ 750gといちばん小さいめもり6こ分です。

2 ① 1 kg 400 g (1400 g)

②



3 ① 1900 g ② 2 kg 60 g  
③ 3070 kg

4 2 kg 10 g、1200 g、1 kg 50 g、980 g

5 ① kg ② g ③ t ④ g

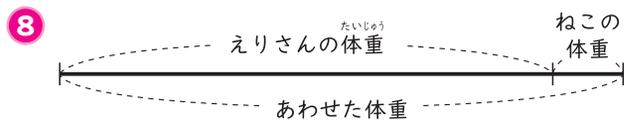
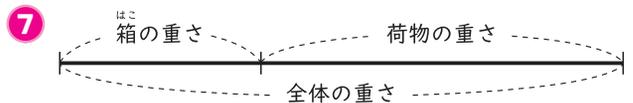
6 ① m ② g ③ 1000

7 式  $500\text{g} + 900\text{g} = 1400\text{g}$   
答え 1 kg 400 g

8 式  $32\text{kg } 700\text{g} - 28\text{kg } 400\text{g}$   
 $= 4\text{kg } 300\text{g}$  答え 4 kg 300 g

2 ① 1 kg と 100 g が 4 つ分です。

4 1 kg 50 g = 1050 g、  
2 kg 10 g = 2010 g です。



## 15 分数

ぴったり① **じゃんび** 78 ページ

1 ①  $\frac{1}{8}$  ② 5 ③  $\frac{5}{8}$

2 ① 3 ② 2 ③ 7 ④ 5

ぴったり② **練習** 79 ページ

てびき

1 ①  $\frac{4}{5}$  m ②  $\frac{2}{6}$  m  
③  $\frac{3}{8}$  m ④  $\frac{7}{10}$  m

2 ①

②

3 ①  $\frac{3}{5}$  L ②  $\frac{4}{7}$  L

4 ① 9、4 ②  $\frac{3}{8}$

1 ① 1 m を 5 等分した 4 こ分の長さです。  
② 1 m を 6 等分した 2 こ分の長さです。  
③ 1 m を 8 等分した 3 こ分の長さです。  
④ 1 m を 10 等分した 7 こ分の長さです。

2 ①  $\frac{1}{4}$  m の 3 こ分の長さをぬります。  
②  $\frac{1}{9}$  m の 5 こ分の長さをぬります。

3 ① 1 L を 5 等分した 3 こ分のかさです。  
② 1 L を 7 等分した 4 こ分のかさです。

4  $\frac{\blacktriangle}{\bullet}$  の  $\bullet$  を分母、 $\blacktriangle$  を分子といいます。

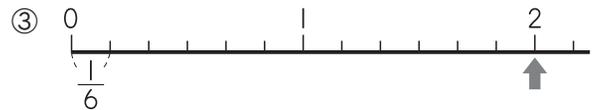
- 1 ① 4    ②  $\frac{1}{4}$     ③  $\frac{3}{4}$     ④  $\frac{4}{4}$     ⑤  $\frac{5}{4}$     ⑥  $\frac{7}{4}$     ⑦  $\frac{8}{4}$   
 2 10、6、8、<

- 1 ① 6 <sup>とうぶん</sup>等分  
 ② ア  $\frac{5}{6}$  m    イ  $\frac{7}{6}$  m    ウ  $\frac{8}{6}$  m  
 エ  $\frac{11}{6}$  m  
 ③ (分数)  $\frac{12}{6}$  m    (整数) <sup>せいすう</sup>2 m  
 ④  $\frac{11}{6}$  m が  $\frac{3}{6}$  m 長い。

- 2 ①  $\frac{5}{4}$  m    ②  $\frac{3}{5}$  m

- 3 ① >    ② =    ③ <

- 1 ② 0 から 1 の間を 6 等分しているから、1 めもりは  $\frac{1}{6}$  m です。ア～エのめもりが表す長さは、 $\frac{1}{6}$  m が何こ分かを考えます。



- ④  $\frac{8}{6}$  m は  $\frac{1}{6}$  m が 8 こ分、 $\frac{11}{6}$  m は  $\frac{1}{6}$  m が 11 こ分だから、 $\frac{11}{6}$  m のほうが  $\frac{1}{6}$  m が 3 こ分長いです。

- 2 0 から 1 の間を何等分しているかを考えます。

- ① 1 m を 4 等分した 5 こ分の長さです。  
 ② 1 m を 5 等分した 3 こ分の長さです。

- 3  $\frac{1}{10}$  と 0.1 は等しい大きさです。分数は  $\frac{1}{10}$  が何こ分か、小数は 0.1 が何こ分かを考えて、大きさをくらべます。

- 1 (1)  $\frac{4}{5}$     (2)  $\frac{7}{7}$ 、1

- 2 (1)  $\frac{3}{10}$     (2)  $\frac{8}{8}$ 、 $\frac{3}{8}$

- 1 ①  $\frac{3}{7}$     ②  $\frac{7}{8}$     ③  $\frac{4}{6}$   
 ④  $\frac{2}{3}$     ⑤  $\frac{4}{4}$  (1)    ⑥  $\frac{5}{5}$  (1)

- 1 分数のたし算は、もとになる分数の何こ分かで計算します。

- ①  $\frac{1}{7}$  をもとにして、 $\frac{1}{7}$  の何こ分かで考えます。

- ⑤  $\frac{1}{4}$  をもとにして、 $\frac{1}{4}$  の何こ分かで考えます。

計算した答えは分母=分子だから、1 と同じ大きさなので、1 と答えてもいいです。

- 2 ①  $\frac{2}{6}$     ②  $\frac{1}{5}$     ③  $\frac{4}{8}$   
 ④  $\frac{1}{7}$     ⑤  $\frac{2}{3}$     ⑥  $\frac{3}{10}$

3 式  $\frac{6}{10} + \frac{1}{10} = \frac{7}{10}$       答え  $\frac{7}{10}$  L

4 式  $1 - \frac{2}{9} = \frac{7}{9}$       答え  $\frac{7}{9}$  L

2 分数のひき算も、たし算と同じように、もともになる分数の何こ分かで計算します。

①  $\frac{1}{6}$  の何こ分かで考えます。

⑤  $\frac{1}{3}$  の何こ分かで考えます。

1 は  $\frac{3}{3}$  と考えて計算します。

⑥ 1 は  $\frac{10}{10}$  と考えて計算します。

3  $\frac{1}{10}$  の何こ分かで考えます。

4  $\frac{1}{9}$  の何こ分かで考えます。

1 L は  $\frac{9}{9}$  L と考えて計算します。

びっぴり3 たし算のテスト

84~85 ページ

てびき

- 1 ①  $\frac{2}{7}$  m    ②  $\frac{4}{9}$  m    ③  $\frac{5}{6}$  L  
 ④  $\frac{7}{10}$  L

- 2 ①  $\frac{3}{4}$     ② 6    ③  $\frac{3}{8}$     ④ 9

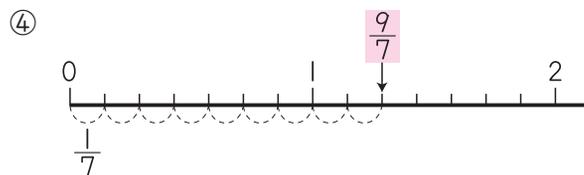
- 3 ㉞  $\frac{7}{10}$     ㉟  $\frac{13}{10}$     ㊱ 0.8

- 1 ① 1 m を 7 等分した 2 こ分の長さです。  
 ③ 1 L を 6 等分した 5 こ分のかさです。

- 2 ①  $\frac{1}{4}$  m は 1 m を 4 等分した 1 こ分の長さです。  
 それを 3 こ分で  $\frac{3}{4}$  m になります。

②  $\frac{1}{6}$  m は 1 m を 6 等分した 1 こ分の長さだから、 $\frac{1}{6}$  m が 6 こ分で 1 m になります。

③  $\frac{7}{8}$  m は  $\frac{1}{8}$  m が 7 こ分、 $\frac{4}{8}$  m は  $\frac{1}{8}$  m が 4 こ分だから、 $\frac{7}{8}$  m のほうが  $\frac{1}{8}$  m の 3 こ分長いです。



- 3 0 と 1 の間を 10 等分しているから、1 めもりは、分数で表すと  $\frac{1}{10}$ 、小数で表すと 0.1 です。

㉞  $\frac{1}{10}$  の 7 こ分です。

㉟  $\frac{1}{10}$  の 13 こ分です。

㊱ 0.1 の 8 こ分です。

- 4 ① > ② = ③ <
- 5 ①  $\frac{2}{5}$  ②  $\frac{5}{7}$  ③  $\frac{6}{10}$  ④  $\frac{9}{9}$ (1)
- ⑤  $\frac{1}{4}$  ⑥  $\frac{2}{6}$  ⑦  $\frac{3}{9}$  ⑧  $\frac{2}{7}$
- 6 ア 100 ① 0.1 ウ  $\frac{1}{8}$

7 式  $\frac{4}{6} + \frac{1}{6} = \frac{5}{6}$  答え  $\frac{5}{6}$  L

8 式  $\frac{7}{8} - \frac{2}{8} = \frac{5}{8}$  答え  $\frac{5}{8}$  m

- 4 ①  $\frac{7}{6}$  は  $\frac{1}{6}$  が 7 こ分、1 は  $\frac{1}{6}$  の 6 こ分です。
- ②  $\frac{1}{10}$  と 0.1 は等しい大きさです。 $\frac{4}{10}$  は  $\frac{1}{10}$  が 4 こ分、0.4 は 0.1 が 4 こ分だから、 $\frac{4}{10}$  と 0.4 は等しい大きさです。
- ③  $\frac{5}{10}$  は  $\frac{1}{10}$  が 5 こ分、0.6 は 0.1 が 6 こ分だから、 $\frac{5}{10}$  は 0.6 より小さいです。

5 分数のたし算やひき算は、もとになる分数の何こ分か考えます。

7  $\frac{1}{6}$  の何こ分かで考えます。

8  $\frac{1}{8}$  の何こ分かで考えます。

## 16 □を使った式

ぴったし11 じゃんび 86 ページ

- 1 ① 25 ② 32 ③ 32 ④ 25 ⑤ 7
- 2 (1) 14、26 (2) □、30

ぴったし2 練習 87 ページ

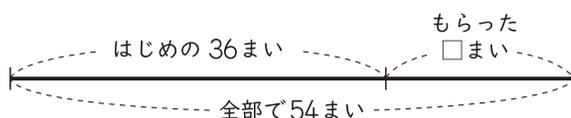
1 式  $36 + \square = 54$  答え 18

2 式  $\square - 15 = 17$  答え 32

てびき

1 わからないのは、もらった数です。

$$\text{はじめにあった数} + \text{もらった数} = \text{全部の数}$$



□にあてはまる数のもとめ方は、図を見て、

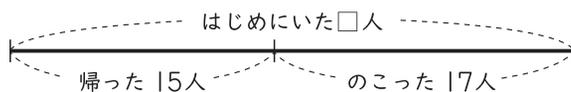
$$54 - 36 = \square$$

$$\square = 18$$

もとめ方はほかにもあります。

2 わからないのは、はじめにいた人数です。

$$\text{はじめにいた人数} - \text{帰った人数} = \text{のこった人数}$$



□にあてはまる数のもとめ方は、図を見て、

$$15 + 17 = \square$$

$$\square = 32$$

もとめ方はほかにもあります。

3 式  $\square \times 6 = 42$

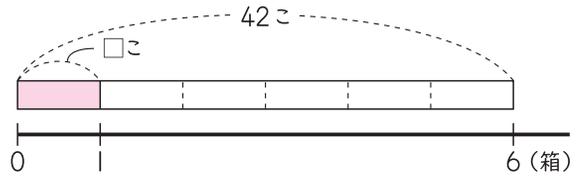
答え 7

4 式  $\square \div 5 = 3$

答え 15

3 わからないのは、<sup>はこ</sup>1箱のあめの数です。

$\square$ 箱のあめの数  $\times$  箱の数 = 全部の数



$\square$ にあてはまる数のもとめ方は、図を見ると、

$\square$ は42を6等分した数だから、

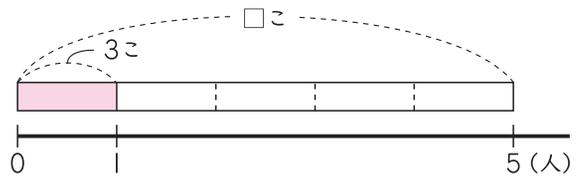
$42 \div 6 = \square$

$\square = 7$

もとめ方はほかにもあります。

4 わからないのは、全部の数です。

全部の数  $\div$  人数 =  $\square$ 人分の数



$\square$ にあてはまる数のもとめ方は、図を見て、

$3 \times 5 = \square$

$\square = 15$

もとめ方はほかにもあります。

ぴったり3 たしかめのテスト

88~89 ページ

てびき

1 ①ア 28 ②イ  $\square$  ③ウ 42

②  $28 + \square = 42$

③ 14

2 ①ア  $\square$  ②イ 8 ③ウ 17

②  $\square - 8 = 17$

③ 25

1 ① わからないのは、もらった数です。

②  $\square$ 持っていた数 +  $\square$ もらった数 = 全部の数

③  $\square$ にあてはまる数のもとめ方は、図を見て、

$42 - 28 = \square$

$\square = 14$

もとめ方はほかにもあります。

2 ① わからないのは、持っていた数です。

②  $\square$ 持っていた数 -  $\square$ あげた数 =  $\square$ のこりの数

③  $\square$ にあてはまる数のもとめ方は、図を見て、

$8 + 17 = \square$

$\square = 25$

もとめ方はほかにもあります。

3 ① 式  $\square \times 8 = 48$

答え 6

② 式  $4 \times \square = 28$

答え 7

4 ① 式  $\square \div 7 = 8$

答え 56

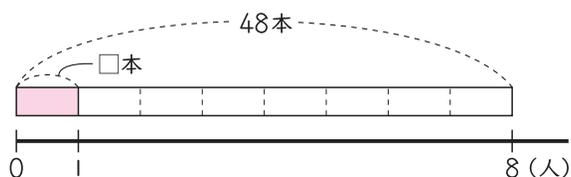
② 式  $30 \div \square = 5$

答え 6

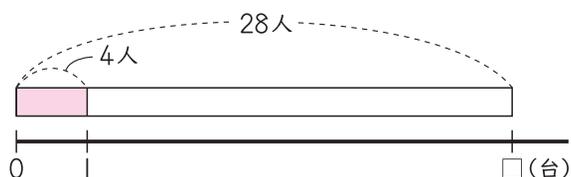
5 式  $35 + 17 + \square = 76$

答え 24

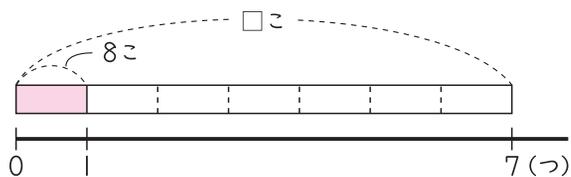
3 ① わからないのは、1人に配るえん筆の数です。



② わからないのは、車の台数です。

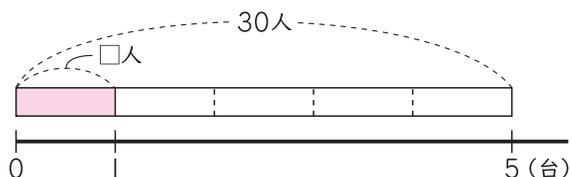


4 ① わからないのは、全部の数です。



② わからないのは、1台に乗る人数です。

$$\begin{aligned} & \text{全部の人数} \div \text{1台に乗る人数} \\ & = \text{かんらん車の台数} \end{aligned}$$



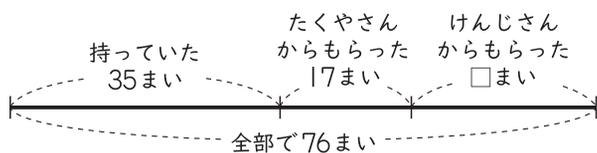
□にあてはまる数のもとのめ方は、図を見て、

$$30 \div 5 = \square$$

$$\square = 6$$

5 わからないのは、けんじさんからもらったまい数です。

$$\begin{aligned} & \text{持っていた数} + \text{たくやさんからもらった数} \\ & + \text{けんじさんからもらった数} = \text{全部の数} \end{aligned}$$



□にあてはまる数のもとのめ方は、図を見て、

$$76 - 35 - 17 = \square$$

$$\square = 24$$

もとのめ方はほかにもあります。

**おうちのかなへ** 数を□を使って表すことは、5年生で2つの数量の変わり方を□と○を使った式に表したり、6年生の比例や反比例などの2つの数量の関係で  $x$  と  $y$  を使った式に表すことにつながります。さらには、中学で学習する方程式や関数の基礎となります。

# 17 かけ算の筆算(2)

## びっぴり1 じゃんび

90 ページ

- 1 2、64、640  
 2 536、134、1876  
 3 (1) 162 (2) 148

## びっぴり2 練習

91 ページ

てびき

- 1 ① 540 ② 490 ③ 400  
 ④ 930 ⑤ 2400 ⑥ 2000

- 2 ① 
$$\begin{array}{r} 21 \\ \times 23 \\ \hline 63 \\ 42 \\ \hline 483 \end{array}$$
 ② 
$$\begin{array}{r} 18 \\ \times 28 \\ \hline 144 \\ 36 \\ \hline 504 \end{array}$$
 ③ 
$$\begin{array}{r} 43 \\ \times 86 \\ \hline 258 \\ 344 \\ \hline 3698 \end{array}$$
  
 ④ 
$$\begin{array}{r} 37 \\ \times 52 \\ \hline 74 \\ 185 \\ \hline 1924 \end{array}$$
 ⑤ 
$$\begin{array}{r} 94 \\ \times 67 \\ \hline 658 \\ 564 \\ \hline 6298 \end{array}$$
 ⑥ 
$$\begin{array}{r} 75 \\ \times 24 \\ \hline 300 \\ 150 \\ \hline 1800 \end{array}$$

- 3 ① 
$$\begin{array}{r} 62 \\ \times 40 \\ \hline 2480 \end{array}$$
 ② 
$$\begin{array}{r} 48 \\ \times 70 \\ \hline 3360 \end{array}$$
 ③ 
$$\begin{array}{r} 85 \\ \times 5 \\ \hline 425 \end{array}$$

- 1 かける数が10倍になると、答えも10倍になります。

① 
$$\begin{array}{r} 6 \times 9 = 54 \\ \begin{array}{c} 10 \text{ 倍} \downarrow \quad \downarrow 10 \text{ 倍} \\ 6 \times 90 = 540 \end{array} \end{array}$$
  
 ③ 
$$\begin{array}{r} 8 \times 5 = 40 \\ \begin{array}{c} 10 \text{ 倍} \downarrow \quad \downarrow 10 \text{ 倍} \\ 8 \times 50 = 400 \end{array} \end{array}$$
  
 ⑤ 
$$\begin{array}{r} 30 \times 8 = 240 \\ \begin{array}{c} 10 \text{ 倍} \downarrow \quad \downarrow 10 \text{ 倍} \\ 30 \times 80 = 2400 \end{array} \end{array}$$
  
 ⑥ 
$$\begin{array}{r} 40 \times 5 = 200 \\ \begin{array}{c} 10 \text{ 倍} \downarrow \quad \downarrow 10 \text{ 倍} \\ 40 \times 50 = 2000 \end{array} \end{array}$$

- 2 かける数の十の位の計算の答えを書くときに、左に|けたずらして書くのをわすれないようにしましょう。

① 
$$\begin{array}{r} 21 \\ \times 23 \\ \hline 63 \\ 420 \\ \hline \end{array}$$
 ~~$$\begin{array}{r} 21 \\ \times 23 \\ \hline 63 \\ 42 \\ \hline \end{array}$$~~  
 21×20=420 0は書かなくてよい。

**家おうちのがたへ** はじめに、かけられる数とかける数をそれぞれ何十とみて計算して、答えの見当をつけてから筆算をするとよいでしょう。

- 3 ①・② 何十をかける計算は、一の位に0を書いたら、つづけて十の位の計算をすればよいです。  
 ③ |けた×2けたの計算は、2けた×|けたになおして計算するとかんたんになります。

1 (1) 1126、2252、23646 (2) 3672、1224、15912

2 (1)① 40 ② 80 ③ 3 ④ 6 ⑤ 86 (2)⑥ 6 ⑦ 100 ⑧ 6 ⑨ 600

びっぴり2 練習

てびき

1 ① 134 ② 236 ③ 426

$$\begin{array}{r} 134 \\ \times 32 \\ \hline 268 \\ 402 \\ \hline 4288 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 236 \\ \times 54 \\ \hline 944 \\ 1180 \\ \hline 12744 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 426 \\ \times 28 \\ \hline 3408 \\ 852 \\ \hline 11928 \end{array}$$

④ 528 ⑤ 348 ⑥ 674

$$\begin{array}{r} 528 \\ \times 67 \\ \hline 3696 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 348 \\ \times 73 \\ \hline 1044 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 674 \\ \times 45 \\ \hline 3370 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 3168 \\ \times 39 \\ \hline 35376 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 2436 \\ \times 70 \\ \hline 25404 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 2696 \\ \times 50 \\ \hline 30330 \end{array}$$

⑦ 403 ⑧ 609 ⑨ 704

$$\begin{array}{r} 403 \\ \times 39 \\ \hline 3627 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 609 \\ \times 70 \\ \hline 42630 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 704 \\ \times 50 \\ \hline 35200 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 1209 \\ \times 13 \\ \hline 15717 \end{array}$$

2 ① 82 ② 159 ③ 460  
④ 480 ⑤ 480 ⑥ 900

3 ① 400 ② 700 ③ 800

1 かける数の十の位の計算の答えを書くときに、左に1けたずらして書くのをわすれないようにしましょう。

$$\begin{array}{r} 134 \\ \times 32 \\ \hline 268 \\ 402 \\ \hline \end{array}$$

~~$$\begin{array}{r} 134 \\ \times 32 \\ \hline 268 \\ 402 \\ \hline \end{array}$$~~

402 ← 0は書かなくてよい。  
 $134 \times 30 = 4020$

⑦ かけられる数の十の位が0のとき、次のようなまちがいに注意しましょう。

$$\begin{array}{r} 403 \\ \times 39 \\ \hline 387 \end{array}$$

←  $0 \times 9$  をわすれている。

129 ←  $0 \times 3$  をわすれている。

$$\begin{array}{r} 129 \\ \times 39 \\ \hline 1677 \end{array}$$

2 ①  $41 \times 2$  ①  $40 \times 2 = 80$   
②  $1 \times 2 = 2$   
あわせて 82

②  $53 \times 3$  ①  $50 \times 3 = 150$   
②  $3 \times 3 = 9$   
あわせて 159

③  $230 \times 2$  は  $23 \times 2$  のかけられる数が10倍になっているから、答えも  $23 \times 2$  の10倍。

④  $120 \times 4$  は  $12 \times 4$  のかけられる数が10倍になっているから、答えも  $12 \times 4$  の10倍。

⑤  $24 \times 20$  は  $24 \times 2$  のかける数が10倍になっているから、答えも  $24 \times 2$  の10倍。

⑥  $15 \times 60$  は  $15 \times 6$  のかける数が10倍になっているから、答えも  $15 \times 6$  の10倍。

3 ①  $25 \times 16 = 25 \times 4 \times 4$   
 $4 \times 4 = 100 \times 4 = 400$

②  $25 \times 28 = 25 \times 4 \times 7$   
 $4 \times 7 = 100 \times 7 = 700$

③  $32 \times 25 = 8 \times 4 \times 25$   
 $8 \times 4 = 8 \times 100 = 800$

**ひっぴり5分レッスン** かけられる数が大きくなっても、筆算のしかたは同じです。まちがえたところを見つけて、もう1回やり直そう。

- 1 ① 3, 960  
 ②ア 2 ① 840 ㊦ 42  
 ③ 882

2 ① 
$$\begin{array}{r} 67 \\ \times 32 \\ \hline 134 \\ 201 \\ \hline 2144 \end{array}$$
 ② 
$$\begin{array}{r} 42 \\ \times 24 \\ \hline 168 \\ 84 \\ \hline 1008 \end{array}$$
 ③ 
$$\begin{array}{r} 75 \\ \times 56 \\ \hline 450 \\ 375 \\ \hline 4200 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 314 \\ \times 43 \\ \hline 942 \\ 1256 \\ \hline 13502 \end{array}$$
 ⑤ 
$$\begin{array}{r} 537 \\ \times 85 \\ \hline 2685 \\ 4296 \\ \hline 45645 \end{array}$$
 ⑥ 
$$\begin{array}{r} 406 \\ \times 70 \\ \hline 28420 \end{array}$$

- 3 ① 4080 ② 900

4 ① まちがい(れい)  $27 \times 6$  の計算をするときに、左に1けたずらして書くのをわすれている。

正しい答え 1701

② まちがい(れい)  $702 \times 4$  の計算をするときに、 $0 \times 4 = 0$  の0を書きわすれている。

正しい答え 33696

5  $6 \times 40 = 240$  式 答え 240人

6  $125 \times 38 = 4750$  式 答え 4750まい

7  $62 \times 16 = 992$  式  
 $1000 - 992 = 8$  答え 8円

- 1 ① かける数が10倍になると、答えも10倍になります。  
 ② 42を40と2に分けて計算します。

2 かける数の十の位の計算の答えを書くときに、左に1けたずらして書くのをわすれないようにしましょう。

3 ①  $68 \times 60$  何十をかける計算は、一の位に0を書いたら、つづけて十の位の計算をすればよいです。  
 $4080$

②  $36 \times 25 = 9 \times 4 \times 25$   
 $= 9 \times 100$   
 $= 900$

4 正しくは ① 
$$\begin{array}{r} 27 \\ \times 63 \\ \hline 81 \\ 162 \\ \hline 1701 \end{array}$$
 ② 
$$\begin{array}{r} 702 \\ \times 48 \\ \hline 5616 \\ 2808 \\ \hline 33696 \end{array}$$

5  $\boxed{\quad}$  このいすにすわる人数  $\times$   $\boxed{\quad}$  いすの数  
 $=$   $\frac{\text{ぜんぶ}}{\text{全部の人数}}$

6  $\boxed{\quad}$  たばのまい数  $\times$   $\boxed{\quad}$  たばの数  
 $=$   $\boxed{\quad}$  全部のまい数

7  $\boxed{\quad}$  mのねだん  $\times$   $\boxed{\quad}$  買う長さ  $=$   $\frac{\text{だいきん}}{\text{代金}}$   
 $\boxed{\quad}$  出したお金  $-$   $\boxed{\quad}$  代金  $=$   $\boxed{\quad}$  おつり

**おうちのみなへ** 整数のかけ算の筆算をもとに、4年生では「小数 $\times$ 整数」、5年生では「小数 $\times$ 小数」の筆算を学習します。ここで、しっかりかけ算の筆算のしかたを理解させましょう。

# 倍の計算

## びっぴり1 じゃんび

96 ページ

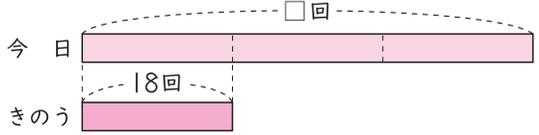
- 1 3、75、75
- 2 28、7、4、4
- 3 32、4、8、8

## びっぴり2 練習

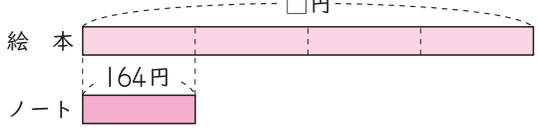
97 ページ

てびき

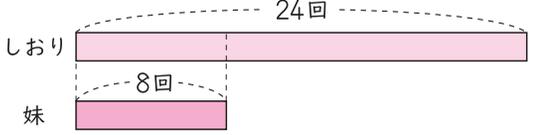
- 1 <sup>しき</sup> 式  $18 \times 3 = 54$       答え 54 回
- 2 式  $164 \times 4 = 656$       答え 656 円
- 3 式  $24 \div 8 = 3$       答え 3 倍
- 4 式  $15 \div 3 = 5$       答え 5 倍
- 5 式  $\square \times 6 = 54$       答え 9 才

1 

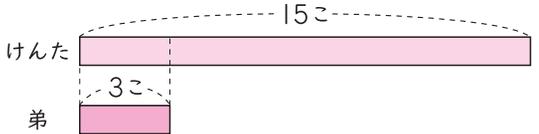
3 倍の大きさをもとめるから、かけ算になります。

2 

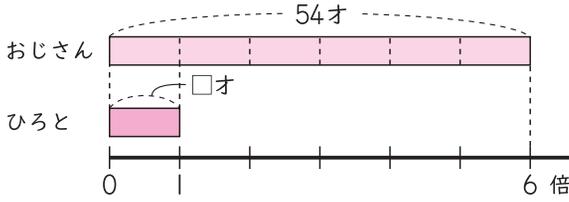
4 倍の大きさをもとめるから、かけ算になります。

3 

8 を何倍すると 24 になるかを考えます。  
 $8 \times \square = 24$  だから、 $\square = 24 \div 8$  になります。

4 

3 を何倍すると 15 になるかを考えます。  
 $3 \times \square = 15$  だから、 $\square = 15 \div 3$  になります。

5 

$\square \times 6 = 54$   
 $\square = 54 \div 6$   
 $= 9$

**おうちのがたへ** まず、もとにする大きさを読み取らせましょう。「 $\square$ の○倍」の「の」がポイントで、 $\square$ がもとにする大きさになります。次の式をつくり、問題を解決させましょう。  
 もとにする大きさ  $\times$  倍 = くらべるものの大きさ

## びっぴり3 たしがのテスト

98~99 ページ

てびき

- 1 ① 青い    ② 赤い    ③   
 ④ 12
- 2 ① エ

- 1 赤いタイルのまい数の4倍  
 もとにする大きさ
- 2 たての長さの何倍かをもとめるから、  
 もとにする大きさ  
 $\square$ 倍とすると、 $5 \times \square = 10$      $\square = 10 \div 5$

3 ウ

4 式  $16 \times 3 = 48$  答え 48 cm

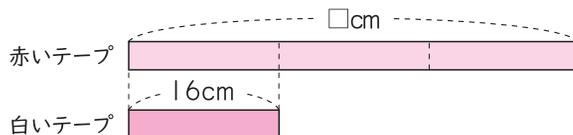
5 式  $36 \div 9 = 4$  答え 4 倍

6 ①  $\square \times 7 = 42$   
② 6 こ

7 ① 式  $48 \times 4 = 192$  答え 192 まい  
② 式  $48 \div 4 = 12$  答え 12 倍  
③ 式 黄の色紙のまい数を  $\square$  まいとすると、  
 $\square \times 6 = 48$   
答え 8 まい

3 オレンジのこ数は、  
りんごのこ数の5倍で、30こ  
もとにする大きさ

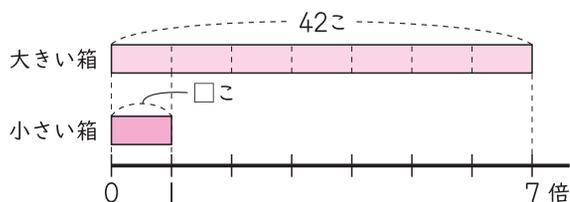
4 白いテープの長さの3倍  
もとにする大きさ



5 たくみさんの何倍  
もとにする大きさ

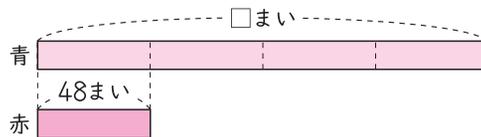


6 ① 大きい箱に入っているあめのこ数は、  
小さい箱に入っているあめのこ数の7倍で、  
42こ もとにする大きさ



②  $\square \times 7 = 42$   
 $\square = 42 \div 7$

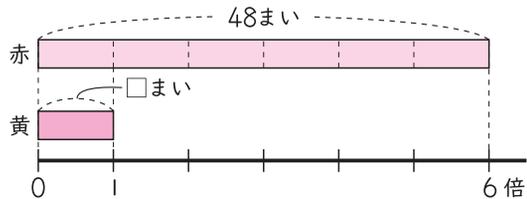
7 ① 赤の色紙のまい数の4倍  
もとにする大きさ



② 緑の色紙のまい数の何倍  
もとにする大きさ



③ 黄の色紙のまい数の6倍  
もとにする大きさ



$\square \times 6 = 48$   
 $\square = 48 \div 6$

**🎯しあげの5分レッスン** 倍の問題では、まず、もとにする大きさを見つけよう。問題の中の「～の○倍」の「～」にアンダーラインをひこう。「の」の前にあるものが、もとにする大きさになるよ。

# 18 三角形と角

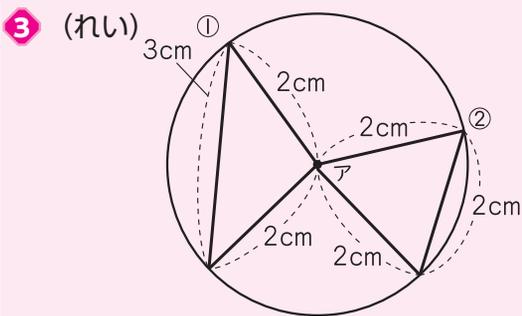
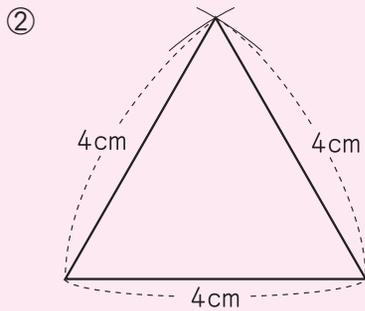
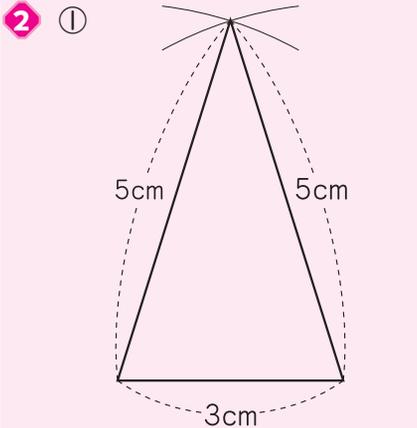
## びっぴり1 じゃんび 100 ページ

- 1 ① い ② う ③ あ ④ え (①と②、③と④ はじゅん番がちがってもよいです。)
- 2 4、3、3、イウ(ウイでもよいです。)

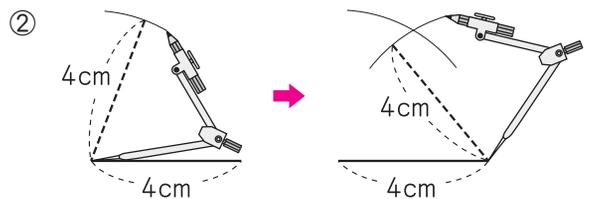
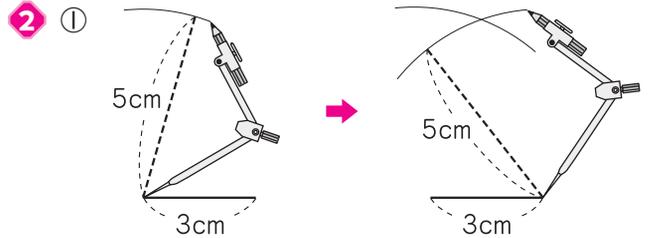
## びっぴり2 練習 101 ページ

てびき

- 1 にとうへんさんかくけい 二等辺三角形 あ、か、く  
正三角形 い、き、こ



- 1 2つの<sup>へん</sup>辺の長さが等しい<sup>ひと</sup>三角形を、二等辺三角形といいます。また、3つの辺の長さがどれも等しい三角形を、正三角形といいます。



- 3 ① ① 円のまわりに、1つの点を<sup>き</sup>決め、その点から3cmはなれた点を取り、2つの点を直線でおすびます。
- ② 円のまわりの2つの点と、円の中心の<sup>ア</sup>の点をそれぞれ直線でおすびます。円は半径の長さが同じだから、②でかいた直線は2つとも2cmになります。
- ② ①と同じようにして、円のまわりに2cmはなれた2つの点をとります。この円の半径の長さは2cmだから、円のまわりの2つの点と、円の中心の<sup>ア</sup>の点の3つの点をそれぞれ直線でおすべば、1<sup>へん</sup>辺の長さが2cmの正三角形がかけます。

**おうちのかたへ** ここでは、二等辺三角形や正三角形の辺の長さに着目して作図しています。さらに、4年生では、平行四辺形やひし形の性質を使って作図し、5年生では、合同な三角形の辺や角に着目して作図することを学習します。作図の学習は中学1年へ、二等辺三角形の学習は中学2年へとつながります。

## びっぴり1 じゃんび 102 ページ

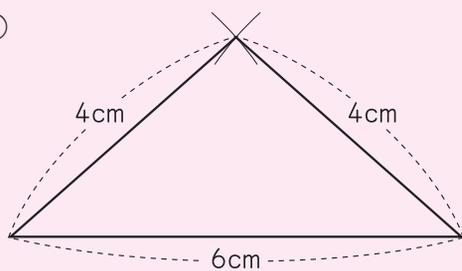
- 1 い、い
- 2 二等辺、い、正、え

- 1 ① う、か  
 ② いちばん小さい角 お  
 いちばん大きい角 う、か  
 ③ あとい
- 2 う、え、い、あ、お
- 3 ① 名前 二等辺三角形  
 大きさの等しい角 あとう  
 ② 名前 正三角形  
 大きさの等しい角 えとおとか

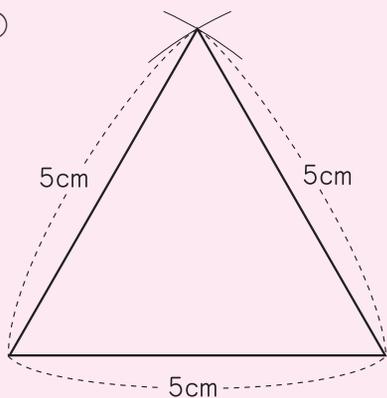
- 1・2 角の大きさは、辺の長さにかんけいなく、辺の開きぐあいだけで決まります。
- 3 ① 2つの辺の長さが等しい三角形を、二等辺三角形といいます。二等辺三角形では、2つの角の大きさが等しくなっています。  
 ② 3つの辺の長さがどれも等しい三角形を、正三角形といいます。正三角形では、3つの角の大きさがすべて等しくなっています。

- 1 二等辺三角形 い、え 正三角形 あ、か

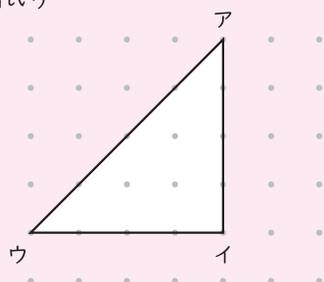
2 ①



②



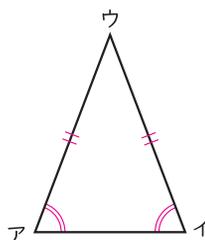
- 3 う、あ、お、い、え  
 4 ① 7 cm ② あとい  
 5 ① 6 cm ② 3つ  
 6 ① 右の図 (れい) ② 9つ



- 7 ① 二等辺三角形 ② 6 cm

- 3 辺の長さにかんけいなく、角をつくっている辺の開きぐあいが大きいじゅんにならべます。

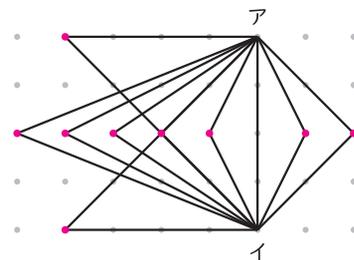
4



✂—||—などのしるしは、辺の長さが等しいことを、などのしるしは、角の大きさが等しいことを表しているよ。

- 5 ① アイの辺とアウの辺は円の半径だから 6 cm です。正三角形だから、イウの辺の長さも 6 cm になります。  
 ② 正三角形では、3つの角の大きさがすべて等しくなっています。

- 6 ① 右の三角形のうち、どれか1つがかければよいです。



- ② 右の図の・が全部ウの点になります。

7



- ② イウの長さは正三角形の辺の長さの半分だから、正三角形の1辺の長さは 6 cm です。



# そろばん

そろばん

106~107 ページ

てびき

- ★ ①ア 5    ① 30    ウ 700  
 エ 735  
 ② 572    ③ 805
- ★ ① 117    ② 39    ③ 84  
 ④ 103    ⑤ 109
- ★ ① 14    ② 11    ③ 72  
 ④ 37    ⑤ 34
- ★ ① 0.9    ② 3.3    ③ 8万  
 ④ 2万

**おうちのかたへ** 4年生でも、けた数を増やして小数や大きい数のたし算とひき算を学習します。基本的な操作のしかたを理解させましょう。

★ <sup>ていいてん</sup> 定位点のあるけたを一の位とします。

★ まず、たされる数を入れて、大きい位の数から計算していきます。

★ まず、ひかれる数を入れて、大きい位の数から計算していきます。

★ 小数や、大きい<sup>せいすう</sup>整数でも、まず、たされる数やひかれる数を入れて、大きい位の数から計算していきます。

①・② 一の位とした定位点のあるけたの右どなりが小数第一位です。

③・④ 一の位とした定位点のあるけたから左に4つめが一万の位です。



# 考える力をのぼそう

問の数に注目して

108~109 ページ

てびき

- ★ ① 少ない    ② 5    ③ 5  
 ④ 75    ⑤ 75
- ★ ①ア 4つ  
 (イ) 式  $18 \times 4 = 72$   
 答え 72 m
- ② 式  $18 \times 9 = 162$   
 答え 162 m
- ★ ① 同じ    ② 8    ③ 8  
 ④ 40    ⑤ 40
- ★ ① 6つ  
 ② 式  $4 \times 6 = 24$   
 答え 24 m

★ 図を見ると、木と木の間の数は5つで、木の数は6本だから、木と木の間の数は、 $6 - 5 = 1$ で、木の数より1少ないことがわかります。

しょうたさんが走る長さは、木と木の間の長さ15mの5つ分です。

★ ①ア 木はまっすぐならんでいるから、木と木の間の数は、木の数より1少なくなります。

(イ) みきさんが走る長さは、間の長さ18mの4つ分です。

② 木と木の間の数は、 $10 - 1 = 9$ で、9つになります。

★ 図を見ると、くいとくいの間の数は8つで、くいの数は8本だから、くいとくいの間の数とくいの数が同じことがわかります。

池のまわり1しゅう分の長さは、くいとくいの間の長さ5mの8つ分です。

★ ① 花だんはまるい形をしているから、くいとくいの間の数と、くいの数は同じになります。

② 花だんのまわり1しゅうの長さは、くいとくいの間の長さ4mの6つ分です。



# 3年のふくしゅう

## まとめのテスト

110ページ

てびき

1 ① 160000 ② 274000

2 ① 834 ② 306  
③ 37 ④ 497

3 ① 512 ② 1407  
③ 1372 ④ 14326

4 ① 4 ② 6  
③ 7あまり2 ④ 8あまり4  
⑤ 42 ⑥ 23

5 式  $60 \div 8 = 7$  あまり 4

答え 8まい

6 式  $36 \div 9 = 4$

答え 4倍

7 ① 9.2 ② 7.6  
③ 0.6 ④ 2.7  
⑤  $\frac{5}{8}$  ⑥  $\frac{9}{9}$  (1)  
⑦  $\frac{2}{7}$  ⑧  $\frac{5}{6}$

1 ① いちばん小さい | めもりは 10000 を表して  
います。

② いちばん小さいめもりが 10 こで 10000  
になっているから、いちばん小さい | めもり  
は 1000 を表しています。

2 ①、② はくり上がりが 2 回あります。くり上が  
りをわすれないように注意しましょう。  
③、④ はくり下がりに注意しましょう。

3 ③	28	④	247
	$\times 49$		$\times 58$
	<hr/>		<hr/>
	252		1976
	<hr/>		<hr/>
	112		1235
	<hr/>		<hr/>
	1372		14326

4 ①  $28 \div 7$  の答えは、7 のだんの九九で見つけ  
られます。

②  $48 \div 8$  の答えは、8 のだんの九九で見つけ  
られます。

③・④ わり算のあまりは、わる数より小さくな  
るようにします。

⑤ 84 を 80 と 4 に分けて考えます。

⑥ 69 を 60 と 9 に分けて考えます。

5 7まいだと、まだ 4 こあまっているから、全部  
のあめを入れるには、もう 1 まいあります。  
 $7 + 1 = 8$

6 9 を何倍すると 36 になるかを考えます。  
 $9 \times \square = 36$  だから、 $\square = 36 \div 9$  になります。

7 ① 2.7 ② 3.6  
 $\begin{array}{r} +6.5 \\ 9.2 \end{array}$      $\begin{array}{r} +4 \\ 7.6 \end{array}$  ← 4.0 と考えて  
計算します。

③ 1.4 ④ 5 ← 5.0 と考えて  
計算します。  
 $\begin{array}{r} -0.8 \\ 0.6 \end{array}$      $\begin{array}{r} -2.3 \\ 2.7 \end{array}$

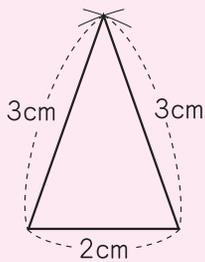
⑤  $\frac{1}{8}$  の何こ分かて考えます。

⑥  $\frac{1}{9}$  の何こ分かて考えます。 $\frac{9}{9} = 1$  だから、  
1 と答えてもいいです。

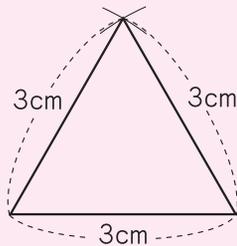
⑦  $\frac{1}{7}$  の何こ分かて考えます。

⑧ 1 は  $\frac{6}{6}$  と考えて計算します。

1 ①



②



2 ① 5 ② 2 ③ 3

3 ① 8 cm ② 40 cm

4 ① 60 ② 1000 ③ 1000

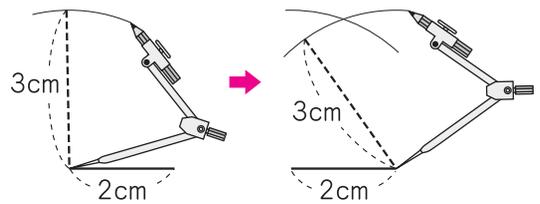
④ 100 ⑤ 1, 490

⑥ 1, 250

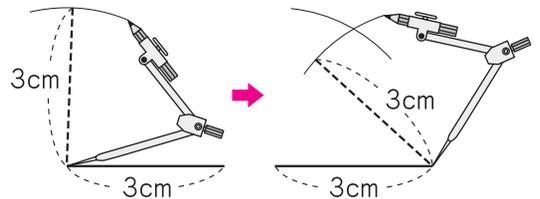
5 ① 2, 50 ② 30

6 ① 1, 530 ② 230

1 ①

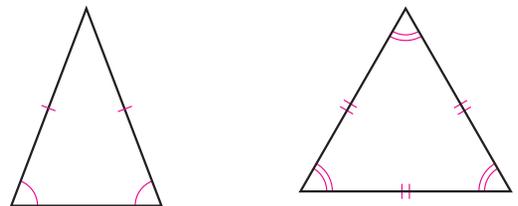


②



2 ① 直径の長さは、半径の2倍です。

② 二等辺三角形 ③ 正三角形



3 ① 同じ大きさのボールが横に3こぴったり入っているから、箱の横の長さはボールの直径の長さの3こ分と等しいです。

$$24 \div 3 = 8$$

② 箱のたての長さは、ボールの直径の長さの5こ分と等しいです。

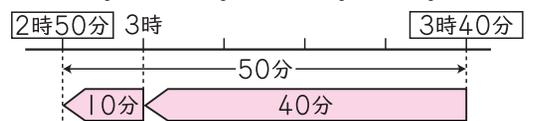
$$8 \times 5 = 40$$

4 ④ 1分40秒は、60秒と40秒で、100秒です。

⑤ 1000mと490mで、1km 490mです。

⑥ 1000gと250gで、1kg 250gです。

5 ①



②



6 ① 道のりは、道にそってはかった長さです。

$$750 + 780 = 1530 \text{ で、} 1530 \text{ m です。}$$

1530 m は 1000 m と 530 m で 1 km 530 m です。

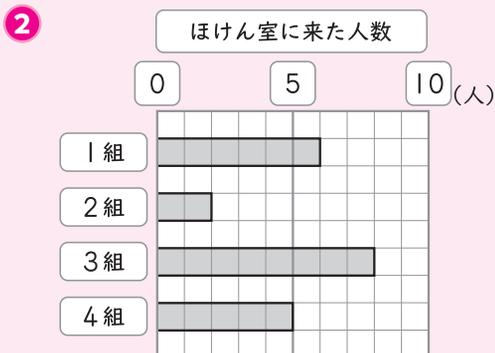
② きよりは、まっすぐにはかった長さだから、

1 km 300 m です。1 km 300 m は 1000 m と 300 m で 1300 m だから、

$$1530 - 1300 = 230 \text{ で、} 230 \text{ m です。}$$

1

しゅるい	人数(人)
切りきず	11
すりきず	9
ねんぎ	3
だ 打ぼく	2
合計	25



3 100 台

- 4 ①ア 28    ① 24    ㊦ 90  
② 物語

- 1 「正」の字は、次の人数を表しています。
- 一……1人
  - 丁……2人
  - 下……3人
  - 正……4人
  - 正……5人

- 2
- ① たてのじくに組を書きます。
  - ② いちばん多い数が表せるように、横のじくの1メモリの数を決めます。いちばん多い数は8で、横のじくは全部で10メモリだから、1メモリの数は1にします。
  - ③ メモリの数を書きます。  
いちばん左は0、1メモリの数は1だから、いちばん右は10、真ん中は5になります。
  - ④ 数に合わせて、ぼうをかきます。  
1組は6メモリ分、2組は2メモリ分、3組は8メモリ分、4組は5メモリ分のぼうをかきます。
  - ⑤ 表題を書きます。

- 3 たてのじくは、0と20の間が2つに分けられているから、グラフの1メモリは、10台を表しています。
- $$50 + 20 + 10 + 20 = 100$$

- 4 ①ア  $9 + 6 + 13 = 28$   
①  $10 + 9 + 4 + 1 = 24$   
㊦  $24 + 34 + 32 = 90$   
( $38 + 28 + 13 + 11 = 90$ )
- ② 表の横にたした合計(いちばん右のらん)を見ると、上からじゅんに38、28、13です。いちばん多い数は38だから、物語だとわかります。

**おうちのかたへ** グラフをかくときも、グラフをよむときも、まず、1メモリの表す数を確認することが大切です。また、4年生でも2つの数量を1つにまとめた表を学習します。表の縦と横を正しく見て、交わったところの数が何を表しているのかわかるようにさせましょう。



**1** ① 3    ② 7    ③ 3    ④ 9

**2** ① 0    ② 0  
 ③ 3    ④ 3  
 ⑤ 0    ⑥ 7

**3** ① 979    ② 636  
 ③ 633    ④ 37

**4** ① 60    ② <sup>びょう</sup>秒

**1** ① かけられる数とかける数を入れかえて計算しても、答えは同じになります。  
 ② かける数が1ふえると、答えはかけられる数だけ大きくなります。  
 ③ 8のだんの九九を考えます。  
 ④  $\square \times 4 = 4 \times \square$ だから、4のだんの九九で考えます。

**2** ①・② どんな数に0をかけても、答えはいつも0になります。  
 ③  $18 \div 6$ の答えは、6のだんの九九で見つかります。  
 ④  $27 \div 9$ の答えは、9のだんの九九で見つかります。  
 ⑤ 0を、0でないどんな数でわっても、答えはいつも0になります。  
 ⑥ わる数が1のとき、答えはわられる数と同じになります。

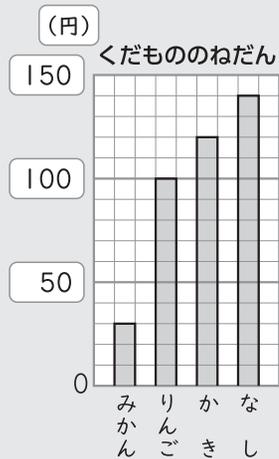
**3** たし算やひき算の筆算は、<sup>ひっさん</sup>数が大きくなっても、<sup>くら</sup>位をそろえて、一の位からじゅんに計算します。くり上がりやくり下がり<sup>ちやうい</sup>に注意しましょう。

① $\begin{array}{r} 437 \\ +542 \\ \hline 979 \end{array}$	② $\begin{array}{r} 247 \\ +389 \\ \hline 636 \end{array}$
------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------

③ $\begin{array}{r} 852 \\ -219 \\ \hline 633 \end{array}$	④ $\begin{array}{r} 402 \\ -365 \\ \hline 37 \end{array}$
------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------

**4** ① 秒は1分より<sup>みじか</sup>短い時間のたんいで、1分=60秒です。  
 ② 50m走の<sup>せかい</sup>世界記録は5秒台です。小学3年生だと、だいたい10秒ぐらいかかります。

- 5 ① 右の図  
② 右の図



- 6 ① ア 5    イ 12    ウ 7    エ 36  
② 1組

- 7 ① ①    ② ②

8 式  $345 - 69 = 276$

答え 276人

- 9 50分

- 10 310m

- 5 ① グラフのたてのじくのめもりは全部で15あります。いちばん多い数は140だから、1めもりを10にします。

たてのじくは、ねだんを表しているので、たんいは「円」になります。

- ② たてのじくの1めもりは10だから、みかんは3めもり分、りんごは10めもり分、かきは12めもり分、なしは14めもり分のぼうをかきます。

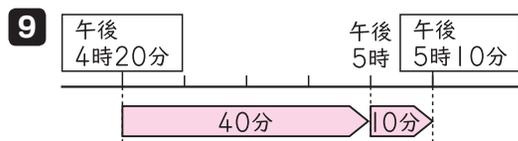
- 6 ① 表をたてか横に見ていきます。

- ② 表をたてにたした合計を見ると、左からじゅんに13、12、11です。いちばん多い数は13だから、読んだ本の数がいちばん多い組は1組です。

- 7 長いものやまるいものの長さをはかるときは、まきじゃくがべんりです。

- 8 土曜日に図書館に来た人の数を□として式に表すと、 $\square + 69 = 345$ になります。

$$\begin{array}{r} 345 \\ - 69 \\ \hline 276 \end{array}$$



午後5時まで40分、午後5時から10分です。

- 10 まっすぐにはかった長さをきより、道にそってのはかった長さを道のりといいます。

道のり… $230 + 300 = 530$ で、  
530mです。

きより…220mです。

だから、道のりときよりのちがいは、  
 $530 - 220 = 310$ で、310mです。



# 冬のチャレンジテスト

てびき

- 1 ① 7あまり6    ② 3あまり1  
 ③ 5あまり6    ④ 6あまり6  
 ⑤ 7あまり2

- 2 ① 3    ② 143006  
 ③ 50900000    ④ 498000

- 3 10<sup>ばい</sup>倍…740    100倍…7400

- 4 ① 5    ② 82

- 5 ① 0.6    ② 小数<sup>だいいちい</sup>第一位    ③ 76こ

- 6 ① 94    ② 534    ③ 868  
 ④ 5215    ⑤ 630    ⑥ 5360

- 1 わり算のあまりは、わる数より小さくなるようにします。

2 ①

千	百	十	一	千	百	十	一
万							
1	3	8	6	4	5	0	2

- ② 十万の位が<sup>くわい</sup>1、一万の位が4、千の位が3、百の位と十の位はないから0、一の位は6です。

③

千	百	十	一	千	百	十	一
万							
5	0	9	0	0	0	0	0

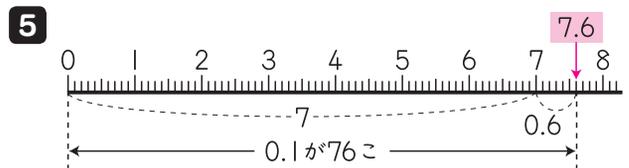
④

十万の位	一万の位	千の位	百の位	十の位	一の位
4	9	8	0	0	0

- 3 数を10倍すると、位が1けたずつ上がり、もとの数の右に0を1こつけた数になります。



- 4 一の位の数か0の数を10でわると、位が1つずつ下がり、もとの数の一の位の0をとった数になります。



- 6 ⑤、⑥は、くふうして計算します。  
 ⑤  $70 \times (3 \times 3) = 70 \times 9 = 630$   
 ⑥  $536 \times (2 \times 5) = 536 \times 10 = 5360$

- 7 ① 24 ② 13 ③ 2.1  
④ 3 ⑤ 0.5 ⑥ 0.4

- 8 ① 4600 ② 7、90  
③ 2000

- 9 ① ちゅうしん中心 ② はんけい半径 ③ ちよっけい直径 ④ 円  
⑤ 2 ⑥ 中心 ⑦ きゅう球

- 10 式  $50 \div 6 = 8$  あまり 2

答え 9箱 はこ

- 11 式  $44 \div 7 = 6$  あまり 2

答え 6つ

- 12 8 cm

- 13 ① ㊶ ② ㊵

- 7 ① 48  $40 \div 2 = 20$   
 $40 \overline{) 8}$   $8 \div 2 = 4$   
あわせて 24

③~⑥は、ひっさん筆算を書くときは位をそろえて書きます。答えの小数点をうつのをわすれないようにしましょう。

- ③  $0.7$  ④  $0.8$   
 $\begin{array}{r} +1.4 \\ \hline 2.1 \end{array}$   $\begin{array}{r} +2.2 \\ \hline 3.0 \end{array}$

- ⑤  $5.2$  ⑥  $3.4$  一の位の0を書くのわすれないようにしましょう。  
 $\begin{array}{r} -4.7 \\ \hline 0.5 \end{array}$   $\begin{array}{r} -3 \\ \hline 0.4 \end{array}$

- 8 1 kg は 1000 g です。  
また、1 t は 1000 kg です。

- ①  $\begin{array}{c} \text{kg} \quad \text{g} \\ \boxed{4} \boxed{6} \boxed{0} \boxed{0} \end{array}$  ②  $\begin{array}{c} \text{kg} \quad \text{g} \\ \boxed{7} \boxed{0} \boxed{9} \boxed{0} \end{array}$   
③  $\begin{array}{c} \text{t} \quad \text{kg} \\ \boxed{2} \boxed{0} \boxed{0} \boxed{0} \end{array}$

- 9 1つの点から長さが等しくなるようにかいたまるい形を円といいます。

円の真ん中の点を円の中心、中心から円のまわりまでひいた直線を半径といいます。

1つの円では、半径はみんな同じ長さです。中心を通るように円のまわりからまわりまでひいた直線を直径といい、直径の長さは、半径の2倍です。

- 10 8箱だと、たまごが2このこっているから、たまごを全部箱に入れることはできません。全部のたまごを箱に入れるには、あと1箱いります。  
 $8 + 1 = 9$

- 11 7まい入りのふくろは6つできて、クッキーが2まいのこります。のこりのクッキーでは、7まい入りのふくろをもう1つ作ることはできません。

- 12 同じ大きさの円が2こぴったり入っているから、長方形の横の長さは円の直径2こ分と等しいです。  
 $32 \div 2 = 16$   $16 \div 2 = 8$   
円の直径 円の半径

- 13 ㊶は4 kgまで、㊵は1 kg(1000 g)まで、㊶は100 kgまではかれます。  
② 算数の教科書の重さは250 gぐらいです。だから、㊵を使います。



# 春のチャレンジテスト

てびき

1 ①  $\frac{5}{6}$  ②  $\frac{4}{7}$  ③  $\frac{4}{5}$

2 ①  $\frac{5}{7}$  ②  $\frac{9}{9}$  (1) ③  $\frac{3}{5}$  ④  $\frac{2}{6}$

3 ① 276 ② 3354 ③ 6045  
④ 17696 ⑤ 17390  
⑥ 20120

4 207.4

5 ① 二等辺三角形 ② 正三角形 ③ 角

6 ① あ、い ② あ、い、う

1 ③  $\frac{1}{5}$  の何こ分かで考えます。 $\frac{2}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  が  
2こ分、 $\frac{4}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  が4こ分です。

2 分数のたし算やひき算は、もとなる分数の何こ  
分かで計算します。

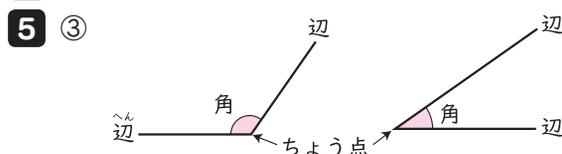
3 かける数の十の位の計算の答えを書くときに、左  
に | けたずらして書くのをわすれないようにし  
ましょう。

①	$\begin{array}{r} 12 \\ \times 23 \\ \hline 36 \\ 24 \\ \hline 276 \end{array}$	②	$\begin{array}{r} 78 \\ \times 43 \\ \hline 234 \\ 312 \\ \hline 3354 \end{array}$	③	$\begin{array}{r} 65 \\ \times 93 \\ \hline 195 \\ 585 \\ \hline 6045 \end{array}$
---	---------------------------------------------------------------------------------	---	------------------------------------------------------------------------------------	---	------------------------------------------------------------------------------------

④	$\begin{array}{r} 632 \\ \times 28 \\ \hline 5056 \\ 1264 \\ \hline 17696 \end{array}$	⑤	$\begin{array}{r} 235 \\ \times 74 \\ \hline 940 \\ 1645 \\ \hline 17390 \end{array}$
---	----------------------------------------------------------------------------------------	---	---------------------------------------------------------------------------------------

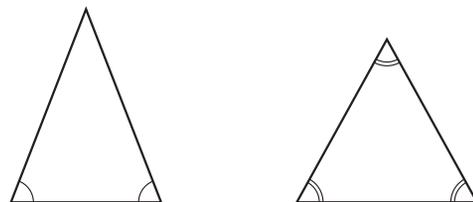
⑥  $\begin{array}{r} 503 \\ \times 40 \\ \hline 20120 \end{array}$

4 定位点のあるけたを、一の位とします。



6 ①は二等辺三角形、②は正三角形です。

① 二等辺三角形 ② 正三角形



などのしるしは、角の大きさが等しいことを表しているよ。

7 ① 式  $\square - 9 = 35$

答え 44

② 式  $\square \times 8 = 56$

答え 7

8 式  $24 \times 32 = 768$

答え 768 こ

9 式  $42 \div 7 = 6$

答え 6 倍

10 式 青いテープの長さを  $\square$  cm とし、

$$\square \times 6 = 48$$

$$\square = 48 \div 6$$

$$= 8$$

答え 8 cm

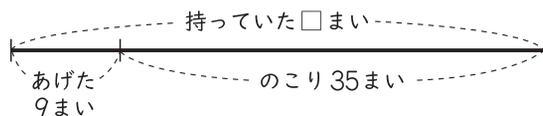
11 ① 二等辺三角形

② イウの辺の長さ 5 cm

理由(れい) 円は半径の長さが同じだから、  
イウの辺の長さを半径と同じ長さにすれば、3つの辺の長さがどれも等しい三角形がかけるから。

7 ① わからないのは、持っていたシールの数です。

$$\text{持っていた数} - \text{あげた数} = \text{のこりの数}$$

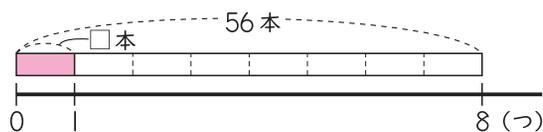


$\square$  にあてはまる数のもとめ方は、図を見て、  
 $9 + 35 = \square$

$$\square = 44$$

② わからないのは、花たば1つの花の数です。

$$\text{花たば1つの花の数} \times \text{花たばの数} = \text{全部の数}$$

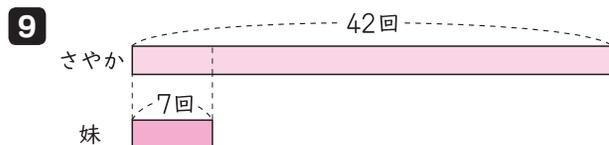


$\square$  にあてはまる数のもとめ方は、図を見ると、  
 $\square$  は 56 を 8 等分した数だから、

$$56 \div 8 = \square$$

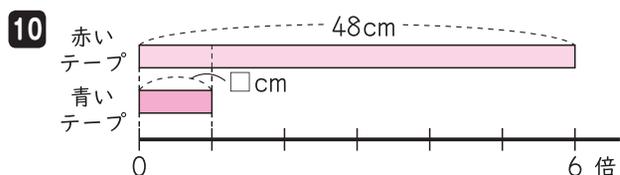
$$\square = 7$$

8  $\square \times \text{ふくろのあめの数} \times \text{ふくろの数} = \text{全部の数}$



7 を何倍すると 42 になるかを考えます。

$7 \times \square = 42$  だから、 $\square = 42 \div 7$  になります。



11 ① アイの辺とアウの辺は、この円の半径です。

円は半径の長さが同じだから、辺の長さが 5 cm、5 cm、3 cm の二等辺三角形になります。

② 円は半径の長さが同じだから、イウの辺の長さを半径と同じ長さにすれば、3つの辺の長さがどれも等しくなります。

1 ①99064000 ②35200000

2 ①0 ②60 ③3 ④42 ⑤902  
⑥588 ⑦1075 ⑧4875

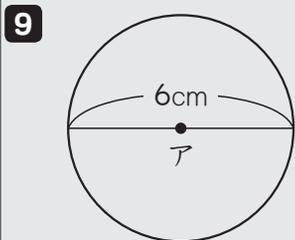
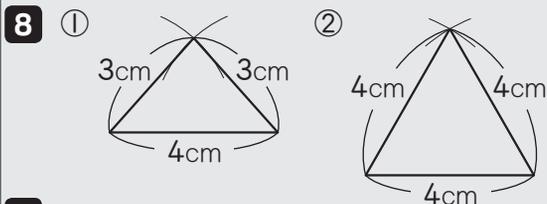
3 ①0.4 dL ②2.9 cm

4 ① $\frac{2}{5}$  ② $\frac{4}{7}$

5 ①> ②< ③= ④<

6 ①7010 ②60 ③1、27 ④5

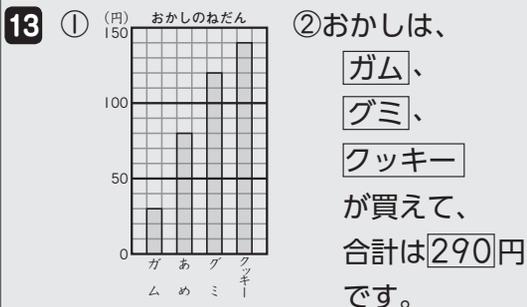
7 ①420 ②3、600



10 ①6 cm ②18 cm

11 ①式  $40 \div 8 = 5$       答え 5こ  
②式  $40 \div 6 = 6$  あまり4  
( $6 + 1 = 7$ )      答え 7こ

12 ① $38 - \square = 25$  ②13



14 ①式  $390 + 700 = 1090$   
( $1090 \text{ m} = 1 \text{ km } 90 \text{ m}$ )  
答え 1 km 90 m

②近いのは、アの道  
わけ…(れい)アの道のりは1370 m、  
イの道のりは1530 mで、ア  
の道のりのほうが短いから。

3 ①1 dLを10等分したうちの4こ分なので、  
0.1 dLが4こ分で0.4 dLです。

4 ①1 mを5等分した1こ分は $\frac{1}{5}$  mだから、2こ分は  
 $\frac{2}{5}$  mです。

6 ①1 km=1000 m ②③1分=60秒 ④1000 g=1 kg

7 ①いちばん小さい1目もりは5 gです。

②いちばん小さい1目もりは20 gです。

8 どちらもまずは1つの辺をかきます。その辺のりょうはし  
にコンパスのはりをさして、それぞれの辺の長さを半径と  
する円をかきます。円の交わる点がちょう点です。

①は、3 cmの辺をいちばん下にかいても正かいです。

9 直径6 cmの円は、半径が3 cmになるので、コンパスの  
はりとしんの間は3 cmにします。

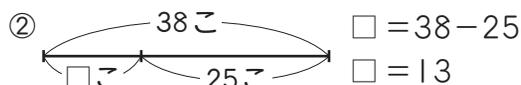
10 ①箱の横の長さは12 cmで、横はボールの直径2こ分の  
長さなので、ボールの直径は、 $12 \div 2 = 6$ で6 cmです。

②箱のたての長さはボールの直径3こ分の長さなので、  
 $6 \times 3 = 18$ で、18 cmです。

11 ①同じ数ずつ分けるので、わり算を使います。

② $40 \div 6 = 6$ あまり4なので、6こずつ箱に入れると、  
6こ入った箱は6こできて、4このたまごがあまります。  
そこで、このあまったたまごを入れるために、もう1こ  
の箱がいります。だから、 $6 + 1 = 7$ で、7この箱がい  
ります。 $6 + 1 = 7$ という式ははぶいて、答えを7こと  
していても正かいです。

12 ①はじめの数 - 食べた数 = のこりの数



13 ①ぼうグラフの1目もりは、10円です。

②3このねだんをたして、300円にいちばん近くなるも  
のを考えます。ぼうグラフをみて考えたり、いろいろな  
組み合わせで合計を考えたり、くふうして答えをもとめ  
ます。また、ガム、グミ、クッキーのじゅん番は、入れ  
かわっていても正かいです。

14 ① $1090 \text{ m} = 1 \text{ km } 90 \text{ m}$ という式ははぶいて、答えを  
1 km 90 mとしていても正かいです。

②アの道のりは、 $420 + 950 = 1370 \text{ (m)}$ 、

イの道のりは、 $650 + 880 = 1530 \text{ (m)}$ です。

わけは、「アの道のりが1370 m」「イの道のりが1530 m」  
「アの道のりのほうが短い」ということが書けていれば正  
かいです。もちろん上の計算を書いても正かいです。